

令和2年度着手
令和7年度(第1回変更)

県営 あんじょう あらい 安城荒井地区 土地改良事業計画書
(経営体育成基盤整備事業)

愛 知 県

目

次

【全 体】

第1章	目 的	1	第4章	一般計画	24
第2章	地域及び地積	1	第1節	事業計画の要旨	24
第1節	地 域	1	1	要 旨	24
第2節	地 積	1	2	事業別面積	24
第3章	現 況	2	第2節	営農計画及び土地利用計画	25
第1節	気 象	2	1	営農計画の概要	25
1	一般気象	2	2	土地利用区分	25
2	特殊気象	4	3	作付方式	26
第2節	土地状況	6	4	生産計画	27
1	地形、土壌及び浸食の程度	6	5	労働改善計画	29
2	土地分類	8	6	級地別土地利用区分	30
3	土地利用の状況	8	7	土地配分計画	30
4	土地所有の状況	9	第3節	用水計画	30
第3節	水利状況	10	1	計画基準年	30
1	用水状況	10	2	計画かんがい方式	30
2	排水状況	13	3	計画用水系統	30
3	河川状況	16	4	計画用水量	33
第4節	道路概況	17	5	水源計画	33
1	道路概況	17	第4節	排水計画	34
2	主要道路一覧表	17	1	計画基準雨量	34
第5節	地域農業の概況	19	2	計画排水方式	34
1	産業別就業人口	19	3	計画排水系統	34
2	経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数	19	4	計画排水量	36
3	動力農機具及び主要家畜頭数	20	5	排水対策	36
4	主要作物作付状況	21	6	湛水検討	37
5	農業の動向	22	第5節	道路計画	37
第6節	地域環境の概況	24	1	道路及び索道	37

目

次

2	路線配置図	37
第6節	農用地造成計画	39
第7節	洪水調整計画	39
第8節	干拓計画	39
第9節	農用地整備計画	39
1	区画整理	39
2	暗渠排水	41
3	客土	41
4	農地保全	41
第10節	老朽ため池改修計画	41
第5章	主要工事計画	41
第1節	用水施設	41
1	貯水池	41
2	頭首工	41
3	揚水機	41
4	用水路	41
5	その他かんがい施設	41
第2節	排水施設	42
1	排水水門	42
2	排水機	42
3	排水路	42
4	その他排水施設	42
第3節	道路及び索道	42
1	道路	42
2	索道	42
第4節	農用地造成	43
第5節	洪水調整施設	43
第6節	干拓施設	43
第7節	農用地整備施設	43
1	区画整理	43
2	暗渠排水	43
3	客土	43

4	除礫	43
5	農地保全	43
第8節	老朽ため池改修施設	44
第6章	付帯工事計画	44
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	44
第8章	環境との調和への配慮	45
第9章	管理の要領	45
第10章	換地計画の概要	45
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	45
第2節	換地区の設定	45
1	換地区の名称、所在、面積	45
2	換地区を設定する理由	45
第3節	換地計画樹立の基本方針	46
1	従前の土地の面積の基準	46
2	用途別予定地積	46
3	農用地集団化の方針	46
4	非農用地の換地方法	47
第4節	土地の評価及び清算の方法	47
1	評価の方法	47
2	清算の方法	47
第5節	換地計画樹立の年度計画	47
第6節	換地処分の特則に関する特則	47
第11章	事業費の総額及び内訳	48
第12章	効用	48
第13章	関連する事業	50
第14章	現況・計画平面図	

目

次

【農業用排水施設整備（用水）】

第1章	目 的	51	第4節	排水計画	57
第2章	地域及び地積	51	第5節	道路計画	58
第1節	地 域	51	第6節	農用地造成計画	58
第2節	地 積	51	第7節	洪水調整計画	58
第3章	現 況	51	第8節	干拓計画	58
第1節	気 象	51	第9節	農用地整備計画	58
第2節	土地状況	52	第10節	老朽ため池改修計画	58
1	地形、土壤及び浸食の程度	52	第5章	主要工事計画	58
2	土地分類	53	第1節	用水施設	58
3	土地利用の状況	53	第2節	排水施設	58
4	土地所有の状況	53	第3節	道路及び索道	58
第3節	水利状況	54	第4節	農用地造成	58
1	用水状況	54	第5節	洪水調整施設	59
2	排水状況	54	第6節	干拓施設	59
3	河川状況	54	第7節	農用地整備施設	59
第4節	道路概況	54	第8節	老朽ため池改修施設	59
第5節	地域農業の概況	54	第6章	付帯工事計画	59
第6節	地域環境の概況	54	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	60
第4章	一般計画	55	第8章	環境との調和への配慮	60
第1節	事業計画の要旨	55	第9章	管理の要領	60
1	要 旨	55	第10章	換地計画の概要	60
2	事業別面積	55	第11章	事業費の総額及び内訳	61
第2節	営農計画及び土地利用計画	55	第12章	効 用	62
1	営農計画の概要	55	第13章	関連する事業	63
2	土地利用区分	55	第14章	現況・計画平面図	
3	作付方式	56			
4	生産計画	56			
5	労働改善計画	57			
6	級地別土地利用区分	57			
7	土地配分計画	57			
第3節	用水計画	57			

目

次

【農業用排水施設整備（排水）】

第1章	目 的	64	第4節	排水計画	74
第2章	地域及び地積	64	1	計画基準雨量	74
第1節	地 域	64	2	計画排水方式	74
第2節	地 積	64	3	計画排水系統	74
第3章	現 況	64	4	計画排水量	74
第1節	気 象	64	5	排水対策	76
第2節	土地状況	65	6	湛水検討	76
1	地形、土壌及び浸食の程度	65	第5節	道路計画	77
2	土地分類	65	第6節	農用地造成計画	77
3	土地利用の状況	66	第7節	洪水調整計画	77
4	土地所有の状況	66	第8節	干拓計画	77
第3節	水利状況	67	第9節	農用地整備計画	77
1	用水状況	67	第10節	老朽ため池改修計画	77
2	排水状況	67	第5章	主要工事計画	77
3	河川状況	69	第1節	用水施設	77
第4節	道路概況	69	第2節	排水施設	77
第5節	地域農業の概況	69	1	排水水門	77
第6節	地域環境の概況	69	2	排 水 機	77
第4章	一般計画	70	3	排 水 路	78
第1節	事業計画の要旨	70	4	その他排水施設	78
1	要 旨	70	第3節	道路及び索道	78
2	事業別面積	70	第4節	農用地造成	78
第2節	営農計画及び土地利用計画	70	第5節	洪水調整施設	78
1	営農計画の概要	70	第6節	干拓施設	78
2	土地利用区分	70	第7節	農用地整備施設	78
3	作付方式	71	第8節	老朽ため池改修施設	78
4	生産計画	72	第6章	付帯工事計画	78
5	労働改善計画	73	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	79
6	級地別土地利用区分	73	第8章	環境との調和への配慮	79
7	土地配分計画	73	第9章	管理の要領	79
第3節	用水計画	73	第10章	換地計画の概要	79

目

次

第11章	事業費の総額及び内訳	80
第12章	効 用	80
第13章	関連する事業	81
第14章	現況・計画平面図	

目

次

【 区 画 整 理 】

第1章	目 的	82
第2章	地域及び地積	82
第1節	地 域	82
第2節	地 積	82
第3章	現 況	82
第1節	気 象	82
第2節	土地状況	83
1	地形、土壤及び浸食の程度	83
2	土地分類	83
3	土地利用の状況	84
4	土地所有の状況	84
第3節	水利状況	85
1	用水状況	85
2	排水状況	85
3	河川状況	87
第4節	道路概況	87
第5節	地域農業の概況	87
第6節	地域環境の概況	87
第4章	一般計画	88
第1節	事業計画の要旨	88
1	要 旨	88
2	事業別面積	88
第2節	営農計画及び土地利用計画	88
1	営農計画の概要	88
2	土地利用区分	88
3	作付方式	89
4	生産計画	89
5	労働改善計画	90
6	級地別土地利用区分	90
7	土地配分計画	90
第3節	用水計画	90

第4節	排水計画	90
1	計画基準雨量	90
2	計画排水方式	90
3	計画排水系統	91
4	計画排水量	91
5	排水対策	91
6	湛水検討	93
第5節	道路計画	93
第6節	農用地造成計画	93
第7節	洪水調整計画	93
第8節	干拓計画	93
第9節	農用地整備計画	93
第10節	老朽ため池改修計画	93
第5章	主要工事計画	93
第1節	用水施設	93
第2節	排水施設	94
1	排水水門	94
2	排 水 機	94
3	排 水 路	94
4	その他排水施設	94
第3節	道路及び索道	94
第4節	農用地造成	94
第5節	洪水調整施設	94
第6節	干拓施設	94
第7節	農用地整備施設	95
第8節	老朽ため池改修施設	95
第6章	付帯工事計画	95
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	95
第8章	環境との調和への配慮	95
第9章	管理の要領	96
第10章	換地計画の概要	96

目

次

第11章	事業費の総額及び内訳	97
第12章	効 用	97
第13章	関連する事業	98
第14章	現況・計画平面図	

【 全 体 】

第 1 章 目 的

(97.7)

本地区は、安城市の南西部に位置し、二級河川半場川の兩岸に跨る面積98.6haの水田地帯である。地形は概ね平坦であり、現況農地は大半が水田となっており、主に水稲、小麦、大豆、きゅうり、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎが栽培されている。

本地域は、基盤整備が行われているものの、用排水路は整備後約50年が経過していることから老朽化が進み、農作業や営農に多大な支障をきたしている。また、用水路のうち一部区間では施工後70年以上が経過し、施設の老朽化に伴う漏水が多く、農地にも影響が出ている状況である。排水不良農地では、一部区画で作付を行うことができず、範囲も年々拡大していることから早急の対応が望まれている。

本事業は、用水路のパイプライン化、排水路の改修、区画の大区画化、道路の拡幅等を行い営農条件の向上を図ることで担い手への農地集積を進め、高収益作物の拡大に資することを目的としている。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
経営体育成基盤整備事業	安城市 東端町、根崎町及び城ヶ入町
農業用排水施設（用水）	安城市 東端町、根崎町及び城ヶ入町
農業用排水施設（排水）	安城市 根崎町及び城ヶ入町
区画整理	安城市 東端町、根崎町及び城ヶ入町

第 2 節 地 積

(2) (3)

(令和8年1月現在)

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農業用排水施設 (用水)	安城市	(93.7) 94.5	-	-	-	-	(93.7) 94.5	登記簿面積より求積
農業用排水施設 (排水)	安城市	64.5	0.8	-	-	-	65.3	
区画整理	安城市	80.3	-	-	-	3.2	83.5	
合計		(93.7) 94.5	0.8	-	-	3.2	(97.7) 98.5	

第3章 現 況

第1節 気 象

1 一般気象
(変更前)

(第3表-1)

観測所名	岡崎観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成10年～平成30年	4月～9月	10月～3月		
平 均 気 温 (℃)		22.2	9.0	15.6	
降 水 量	平 均(mm)	956	569	1,525	
	基準年(mm)	1,206	582	1,788	国営矢作川用水（昭和22年）の用水計画による。
降 水 日 数	平 均(日)	59	43	102	
	基準年(日)	44	32	76	国営矢作川用水（昭和22年）の用水計画による。
根 雪 期 間		一月一日	～ 一月一日	(- 日間)	
無 霜 期 間		3月26日	～ 11月26日	(約246日間)	名古屋地方気象台
最 多 風 向		NW	最大風速	14.8 m/s	最多風向発生時期 10月～4月
			(風 向)	(SSE)	最大風速発生年月日 平成30年9月4日

(変更後)

(第3表-1)

観測所名	岡崎観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成3年～令和2年	4 月～9 月	10月～3 月		
平 均 気 温 (℃)		22	9.0	15.5	
降 水 量	平 均 (mm)	963	545	1,508	
	基準年 (mm)	1,206	582	1,788	国営矢作川用水（昭和22年）の用水計画による。
降 水 日 数	平 均 (日)	60	44	104	
	基準年 (日)	44	32	76	国営矢作川用水（昭和22年）の用水計画による。
根 雪 期 間		一月一日	～ 一月一日	(- 日間)	
無 霜 期 間		一月一日	～ 一月一日	(- 日間)	
最 多 風 向		NW	最大風速 (風 向)	18.0 m/s (NW)	最多風向発生時期 12 月 ～ 4 月 最大風速発生年月日 平成3年2月25日

2 特殊気象
(変更前)

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
岡崎観測所																
観測期間 明治24年～平成30年	数 量	年 月 日	発生 確率	数 量	年 月 日	発生 確率	数 量	年 月 日	発生 確率	数 量	年 月 日	発生 確率	数 量	年 月 日	発生 確率	
最大日雨量 (mm)	351.0	S46. 8. 30	1/777	310.0	T14. 8. 14	1/302	263.5	H20. 8. 29	1/103	227.7	S37. 8. 25	1/43	225.0	S37. 7. 27	1/40	
最大時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量 (mm)	454.7	M38. 6. 9 ～ 6. 26	1/153	454.0	S36. 6. 23 ～ 6. 29	1/151	451.0	S46. 8. 29 ～ 9. 3	1/13	447.5	H20. 8. 28 ～ 8. 30	1/135	397.6	T14. 8. 14 ～ 8. 17	1/57	
最大連続干天日数 (日)	42	S48. 11. 20 ～ 12. 31	1/196	40	S61. 1. 5 ～ 2. 13	1/134	36	M30. 11. 25 ～ 12. 30	1/62	36	H9. 10. 8 ～ 11. 12	1/62	33	M26. 6. 25 ～ 7. 27	1/34	

(変更後)

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
岡崎観測所																
観測期間 昭和51年～令和6年	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	
最大日雨量 (mm)	268.0	R5.6.2	1/926	263.5	H20.8.29	1/730	179.0	H12.9.12	1/14	159.0	S57.8.3	1/7	155.5	R4.9.23	1/6	
最大時間雨量 (mm)	146.5	H20.8.29	1/1000 以下	78.0	H23.9.20	1/44	67.5	R4.7.26	1/21	55.5	R2.7.25	1/9	55.0	H12.9.12	1/8	
最大4時間雨量 (mm)	252.5	2008/8/29 0:00～	1/1000 以下	141.0	2000/9/11 22:00～	1/34	112.0	2023/6/2 10:00～	1/10	108.0	2011/9/20 2:00～	1/9	106.0	1994/9/17 19:00～	1/8	
最大連続雨量 (mm)	447.5	H20.8.28 ～ 8.30	1/448	302.5	R5.5.29 ～ 6.3	1/14	295.0	H5.6.29 ～ 7.15	1/12	295.0	H12.9.11 ～ 9.12	1/12	286.0	H2.9.13 ～ 9.20	1/10	
最大連続干天日数 (日)	40	S61.1.5 ～ 2.13	1/76	36	H9.10.8 ～ 11.12	1/37	32	H11.12.6 ～ 1.6	1/18	31	H7.11.28 ～ 12.28	1/15	31	H21.8.12 ～ 9.11	1/15	5位と同順位 H10.12.9～ 1.8

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 ・ その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
										8° ～10°	10° ～12°	12° ～15°						
農業用排水施設 (用水)	面 積 (ha)	-	(93.7) 94.5	-	-	-	(93.7) 94.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7	-0.3	
	比 率 (%)	-	100	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
農業用排水施設 (排水)	面 積 (ha)	-	64.5	-	-	-	64.5	0.8	-	-	-	-	-	-	0.8	2.1	-0.2	
	比 率 (%)	-	100	-	-	-	100	100	-	-	-	-	-	-	100	-	-	
区画整理	面 積 (ha)	-	80.3	-	-	-	80.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	-0.2	
	比 率 (%)	-	100	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	面 積 (ha)	-	(93.7) 94.5	-	-	-	(93.7) 94.5	0.8	-	-	-	-	-	-	0.8	2.1	-0.3	
	比 率 (%)	-	100	-	-	-	100	100	-	-	-	-	-	-	100	-	-	

(第4表-1-2)

項 目 土壤統（区）名	土 壤 統（区）区 分 一 覧 表									面 積 (ha)					備考
	土 壤 断 面								堆 積 様 式	母 材	事 業 名				
	色	腐 植	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性			泥炭層 黒泥層 グライ層			(排農 用水業 水施用 設用)	(排農 水施用 設用)	区 画 整 理	計	
					表 土	下 層 土									
					一 層	二 層	三 層								
開正統 E43	灰色/ 青灰色	なし	なし	糸根状含	壤質	壤質	壤質	80cm以上の心土か らグライ	水積	非固結 水成岩	(45.8) 46.6	41.4	37.8	(45.8) 46.6	水田
米津統 D32	青灰色	なし	なし	糸根状、 管状有～含	粘質	粘質	粘質	作土または、作土 直下からグライ	水積	非固結 水成岩	37.0	13.0	33.0	37.0	水田
針曾根統 F52	灰色	なし	なし	糸根状含	壤質～ 粘質	壤質～ 粘質	壤質～ 粘質	80cm以上 にはなし	水積	非固結 水成岩	10.9	10.1	9.5	10.9	水田
奥田統 o	黄灰色	なし	なし	あり	砂質	砂質	砂質	-	水積	非固結 水成岩	-	0.8	-	0.8	畑
計											(93.7) 94.5	65.3	80.3	(94.5) 95.3	

2 土地分類
該当なし

3 土地利用の状況

(2) (3)
(令和8年1月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						原 野 (ha)	山 林 (ha)	採 草 放 牧 地 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	樹 ぞ 園 の 地 他 (ha)						
農業用排水施設 (用水)	安城市	(93.7) 94.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(93.7) 94.5	
	計	(93.7) 94.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(93.7) 94.5	
農業用排水施設 (排水)	安城市	64.5	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	65.3	
	計	64.5	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	65.3	
区画整理	安城市	80.3	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	83.5	
	計	80.3	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	83.5	
合計		(93.7) 94.5	0.8	-	-	-	-	-	-	-	3.2	(97.7) 98.5	

4 土地所有の状況

(2) (3)
(令和8年1月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有地等	国有地	県有地	市有地	改良区有地	計	備 考
農業用排水施設 (用水)	面 積 (ha)	(93.7) 94.5	-	-	-	-	(93.7) 94.5	
	受 益 者 数 (人)	(82) 83	-	-	-	-	(82) 83	
	筆 数 (筆)	(610) 621	-	-	-	-	(610) 621	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	-	
	備 考 (関係戸数)	(74) 75	-	-	-	-	(74) 75	
農業用排水施設 (排水)	面 積 (ha)	65.3	-	-	-	-	65.3	
	受 益 者 数 (人)	72	-	-	-	-	72	
	筆 数 (筆)	430	-	-	-	-	430	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	-	
	備 考 (関係戸数)	66	-	-	-	-	66	
区画整理	面 積 (ha)	80.3	-	-	3.2	-	83.5	
	受 益 者 数 (人)	67	-	-	-	-	67	
	筆 数 (筆)	532	-	-	87	-	619	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	-	
	備 考 (関係戸数)	61	-	-	-	-	61	
合計	面 積 (ha)	(94.5) 95.3	-	-	3.2	-	(97.7) 98.5	
	受 益 者 数 (人)	(94) 95	-	-	-	-	(94) 95	
	筆 数 (筆)	(625) 636	-	-	87	-	(712) 723	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	-	
	備 考 (関係戸数)	(87) 88	-	-	-	-	(87) 88	

第3節 水利状況

1 用水状況

用水は、大部分が鹿乗川から取水しているが、荒井サージタンクからも補給水として取水している。用排水路は整備後約50年が経過していることから老朽化が進み、農作業や営農に多大な支障をきたしている。また、用水路のうち一部区間では施工後70年以上が経過し、施設の老朽化に伴う漏水が多く、農地にも影響が出ている状況である。

地区内の用水路は開水路であり、堰上げにより各ほ場へ配水しているため、配水操作が複雑になっており、日常管理に多大な労力を費やしている。

(1) 用水系統

(次頁 現況用水系統図参照)

(2) 用水施設

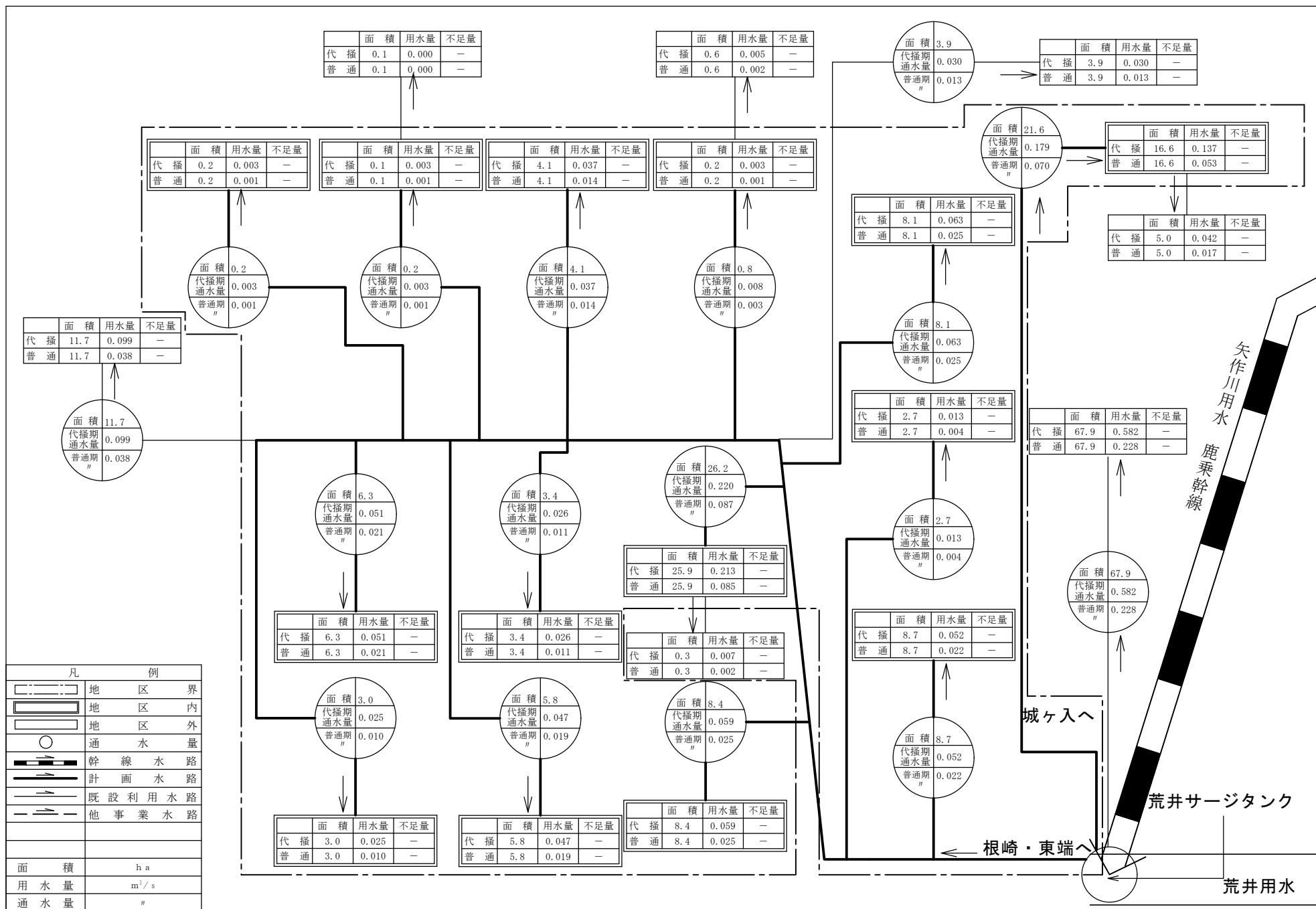
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権		延べ取水量	備 考
		500ha以上		100～500ha		100ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s	
農業 （用水） 排水施設	貯水池	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	井堰	-	-	-	-	1	(93.7) 94.5	1	(93.7) 94.5	1	(0.732) 0.750	-	-	(0.732) 0.750	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	1	(93.7) 94.5	1	(93.7) 94.5	1	(0.732) 0.750	-	-	(0.732) 0.750	

現況用水系統図

(変更前)



(変更後)



(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項 目	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備 考
	施設名							
農業用 (用水) 排水施設	貯 水 池	-	-	-	-	-	-	
	井 堰	-	-	-	-	-	-	
	自 然 取 入 口	-	-	-	-	-	-	
	揚 水 機	-	-	-	-	-	-	
	用 水 路	農業用 用水路	(93.7) 94.5	開水路	U200～ U600他	昭和40年	(老朽化) 老朽化 パイプライン化	
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	
	計	-	(93.7) 94.5					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当なし

(イ) その他の被害状況

該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

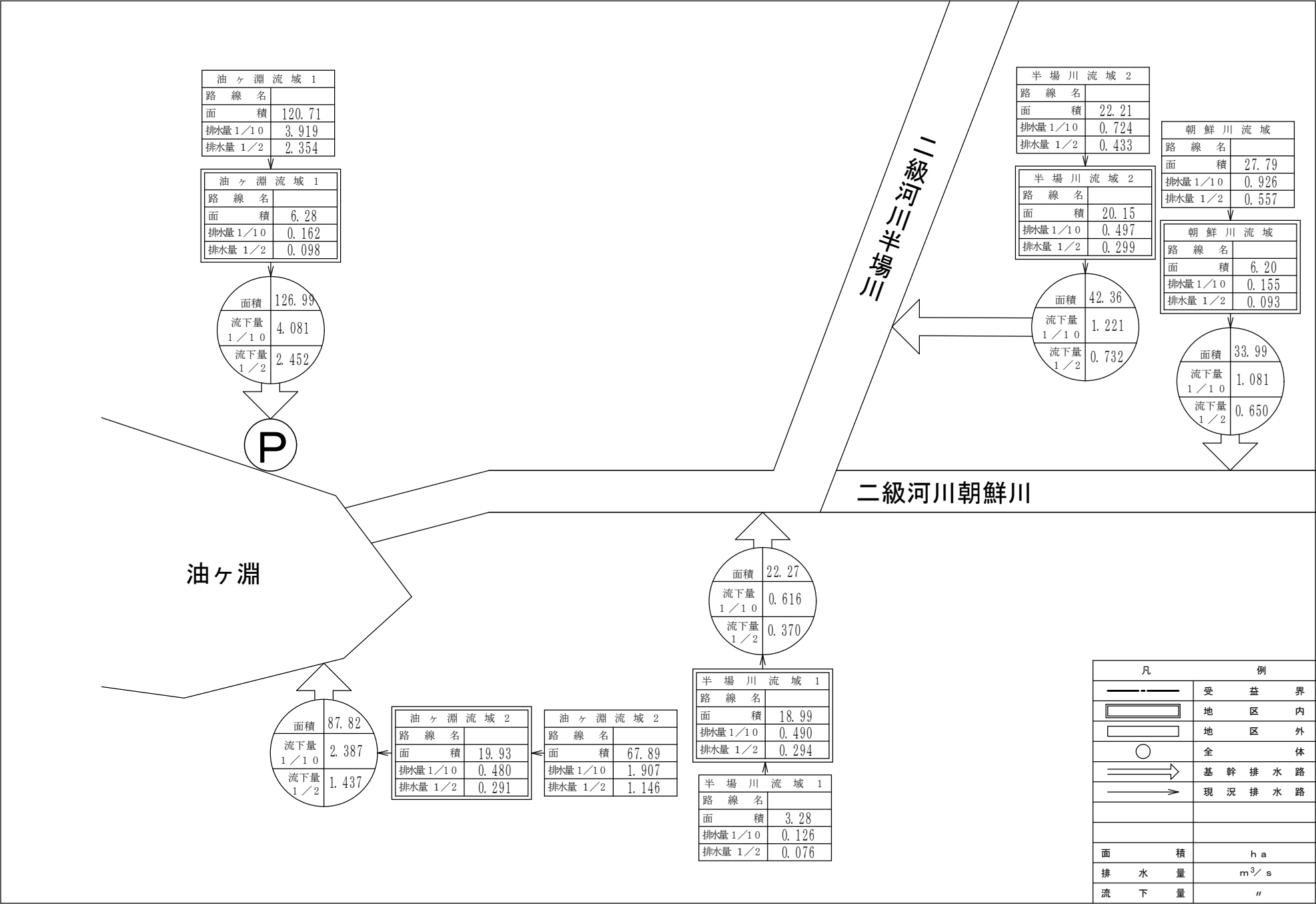
該当なし

2 排水状況

排水は油ヶ淵、半場川、朝鮮川の同一水系（二級河川高浜川水系）へと排水しているが、老朽化及び能力・敷高不足により排水不良が生じている。

(1) 排水系統

(次頁 現況排水系統図参照)



(2) 排水施設
(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排 水 面 積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備 考
			500ha以上		500～100ha		100ha未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
農業 （排水） 用排水施設	自然	排水路	-	-	4	[65.3] 186.4	-	-	4	[65.3] 186.4	-	8.8	
		水 門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計		-	-	4	[65.3] 186.4	-	-	4	[65.3] 186.4	-	8.8	
区 画 整 理	自然	排水路	-	-	-	-	-	-	-	-	-	排水機は当事業の 対象外	
		水 門	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
		排水路及び排水機	-	-	1	[6.3] 127.0	-	-	1	[6.3] 127.0	-		10.1
	計		-	-	1	[6.3] 127.0	-	-	1	[6.3] 127.0	-		10.1
合計			-	-	5	[71.6] 313.4	-	-	5	[71.6] 313.4	-	18.9	

[]は地区内分

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模 (mm)	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考	
農業 （排水用排水施設）	自然	排水路	農業用排水路 6.5km	65.3	U型水路 組立柵渠	400×400～ 600×1000	S40	能力不足及び老朽化 による機能低下		
		水 門	-	-	-	-	-	-		
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-		-
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-		-
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-		-
	計		-	65.3	-	-	-	-		-
区画 整理	自然	排水路	-	-	-	-	-	-	排水機は当事業の 対象外	
		水 門	-	-	-	-	-	-		-
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-		-
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-		-
		排水路及び排水機	農業用排水路 0.5km	6.3	組立柵渠	600×600	S40	能力不足及び老朽化 による機能低下		-
	計		-	6.3	-	-	-	-		-
合 計			-	71.6	-	-	-	-		

(3) 排水に関する被害状況
該当なし

3 河川状況
該当なし

第4節 道路概況

1 道路概況

本地区の主要道路は、東西に県道46号線（主要地方道西尾知多線）が横断、地区外北西部に県道45号線（主要地方道安城碧南線）が縦断しており、県道46号線と接続している。

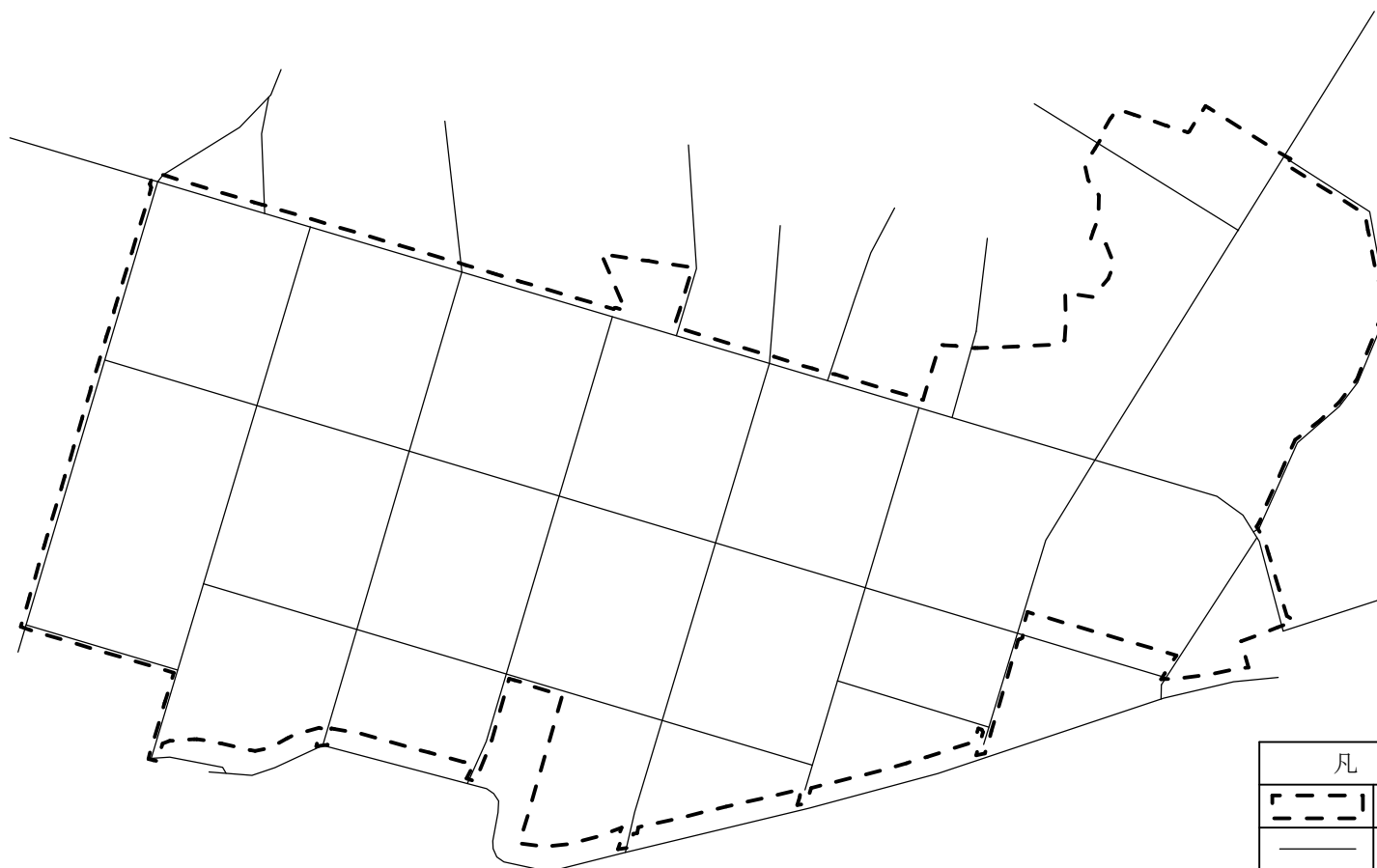
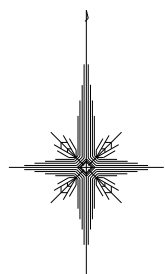
地区内の道路は、概ね市道認定がされているが、一部道路で幅員が狭く通行に支障を来しているため営農に大変苦慮している。

（次頁 現況道路配置図参照）

2 主要道路一覧表

（第6表）

NO.	路 線 名	管理区分	延長（m）	幅 員（m）		構 造	改修の要否	備 考
				全幅	有効			
1	県道46号西尾知多線	愛知県	25,000	20.0	10.0	アスファルト舗装	否	図測より
2	県道45号安城碧南線	愛知県	13,200	6.5	5.5	アスファルト舗装	否	図測より



凡	例
---	ほ場整備区域界
—	現況道路

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	水熱 道供 業給ス	電 気 ガ ス	運 輸 通 信	卸飲 売食 小売店	金 融 保 険	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公 務	そ の 他	備 考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
安城市	(92,479) 89,423	(2,230) 1,938	(8) 4	(5) 6	(32) 29	(4,435) 4,105	(33,876) 32,727	(284) 248	(5,415) 5,660	(11,043) 10,857	(1,518) 1,351	(一) 1,191	(11,102) 26,767	(2,005) 1,933	(20,526) 2,607		
比率(%)	100.00	2.17	0.00	0.01	0.03	4.59	36.60	0.28	(6) 6.33	(一) 12.14	(一) 1.51	(一) 1.33	(12) 29.93	(22) 2.16	(22) 2.92		

((出典:第65次農林水産統計年報))

(令和2年国勢調査)

2 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農 家 総 戸 数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)										自 給 的 農 家	1戸当り平均 農用地面積(ha)					主副業別 農家数(戸)			備 考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5 ha	0.5 ～ 1.0 ha	1.0 ～ 1.5 ha	1.5 ～ 2.0 ha	2.0 ～ 3.0 ha	3.0 ～ 5.0 ha	5.0 ～ 10.0 ha	10.0 ～ 20.0 ha	20.0 ha 以上		田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	主 業	準 主 業	副 業	
		ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha										
安城市	(2,028) 812	(54) 94	(211) 161	(419) 269	(238) 121	(89) 62	(40) 32	(12) 7	(18) 7	(35) 13	(905) 46		(2.84) 4.87	(0.21) 0.33	(0.27) 0.36	(3.32) 5.56	-	(253) 200	(152) 100	(718) 511	
比率(%)	100.00	(3) 11.58	(10) 19.83	(21) 33.13	(11) 14.90			(1) 0.86			(2) 5.67	(44) 0.00	(86) 87.59		(8) 6.47			(13) 24.63	(7) 12.32	(36) 62.93	比率について、端数処理の関係 上各数値の合計値が100.00とな らない

(2015)

(出典:2020年農林業センサス)

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項 目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備 考
	動力耕運機		動力防除機		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		家きん		
	数量 (台)	経営 体数 (経営体)	数量 (台)	経営 体数 (経営体)	数量 (台)	経営 体数 (経営体)	数量 (台)	経営 体数 (経営体)	数量 (頭)	経営 体数 (経営体)	数量 (頭)	経営 体数 (経営体)	数量 (頭)	経営 体数 (経営体)	数量 (頭)	経営 体数 (経営体)	
安城市	(1261) －	(800) －	－	－	(542) －	(521) －	(493) －	(398) －	(185) 163	経営 体数 3	(X) 467	(7) 5	－ X	2 2	－ X	(3) 1	「X」は、秘密 保護上統計数値 を公表しないもの。 「－」は、出典 に統計がなく数 値がないもの
100経営体当り数量 (頭, 100羽)	(158台) －		－		(104台) －		(124台) －		(6, 167頭) 5, 433頭		(X) 9, 340頭		X		X		
利用経営体数の割合 (%)	(39) －		－		(26) －		(20) －										

(2015)

(出典:2020年農林業センサス)

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名	安城市	作付割合	備考
総耕地面積 (ha)	(2,447) 3,101		
区分 作物名	作付面積 (ha)		
水稻	(1,631) X	(43.0) —	「X」は、秘密保護上統計 数値を公表しないもの。
麦類	(1,015) 1,129	(27.0) 50.38	
雑穀	(3) X	(0.0) —	
いも類	(1) X	(0.0) —	
豆類	(874) 1,010	(23.0) 45.07	
工芸作物	(10) X	(1.0) —	
野菜類	(110) X	(3.0) —	
果樹類	(70) 62	(2.0) 2.77	
花き類・花木	(7) X	(0.0) —	
その他の作物	(31) 40	(1.0) 1.78	
計	(3,752) 2,241	100.00	

(2015)

(出典:2020年農林業センサス)

5 農業の動向
(変更前)

(第7表-5)

項目 区分	農家			土地			主要作物			主要家畜			動力農機具			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	87	76	耕地	105	96	水稻	X	X	乳用牛	53	54	動力田植機	79	53	農振整備計画 昭和45年指定 昭和49年認可 野菜指定産地 昭和41年指定 冬春きゅうり 平成19年指定 冬春なす 果樹濃密団地 平成18年指定 なし ぶどう いちじく 酪農近代化 平成18年指定	A… 平成27年 B… 平成22年 C… 平成17年の 農業の値 「x」… 統計数値が公表されていないために指数を求められないもの
	主要農家数	74	68	田	107	99	麦類	101	134	肉用牛	56	X	トラクター	86	68		
	準主業農家数	77	38	畑	96	80	野菜	65	49	豚	X	X	コンバイン	79	58		
	副業的農家数	82	69	樹園地	84	64	果樹	X	X	家きん	X	X					
	農業従事者数	89	68														
変化の理由	農家数及び農業従事者数とも減少傾向にある。また農業従事者の減少等の影響から、準主業農家数の減少傾向がみられる。			耕地の減少傾向は住宅等への転用による。			麦類は増加傾向であるが、野菜は減少傾向にある。その他の作物は統計数値が公表されていないため変化の把握ができない。			畜産経営と取り巻く社会的状況が厳しさを増していることから、乳用牛の飼養頭数は減少傾向にある。			地域全体における農家の減少にともない、農機具の所有台数も減少傾向にある。				

(出典:2005年, 2010年, 2015年農林業センサス他)

(変更後)

項目 区分	農家			土地			主要作物			主要家畜			地域指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	農業経営体数	78	56	耕地	73	92	水稻	97	X	乳用牛	102	90	農振整備計画 昭和45年指定 昭和49年認可 野菜指定産地 昭和41年指定 冬春きゅうり 平成19年指定 冬春なす 果樹濃密団地 平成18年指定 なし ぶどう いちじく 酪農近代化 平成18年指定	A… 令和2年 B… 平成27年 C… 平成22年の 農業センサス値 「x」… 統計数値が公表されていないために指数を求められないもの
	個人経営体数	79	56	田	72	94	麦類	83	92	肉用牛	X	76		
	団体経営体(法人)数	91	100	畑	82	72	野菜	70	X	豚	X	X		
	団体経営体(非法人)数	-	-	樹園地	85	83	果樹	57	50	家さん	X	X		
変化の理由	他産業への転職、高齢化等に伴い、農業経営体数及び個人経営体数が減少傾向にある。また団体経営体は法人化が進んでいる。			住宅等への転用により、耕地は減少傾向にある。			住宅等への転用による耕地面積減少の影響から主要作物は減少傾向にある。			畜産経営と取り巻く社会的状況が厳しさを増していることから、乳用牛飼養頭数は減少傾向にある。その他の家畜については出典に統計数値が公表されていないため把握ができない。				

(出典:2010年, 2015年, 2020年農林業センサス他)

第6節 地域環境の概況

安城市における環境に配慮すべき項目は次のとおりである。

1 特に配慮すべき生物環境（植物、植生、動物）

本市は、矢作川、高浜川、猿渡川の3水系に属する多数の中小河川に加えてかんがい用排水路があり、さらには江戸時代に海から切り離された湖の油ヶ淵があり、多様な水辺環境を形成している。

水辺の生き物の中には、イチモンジタナゴ、ネコギギ、メダカ等の絶滅危惧種が確認されており、昆虫の中には、エサキアメンボ、ギンイチモンジセセリ、ツマグロキチョウ等の絶滅危惧種が確認されている。

本地区は、二級河川半場川の両岸に跨る地区であり、接続している水路には多種多様な生物が生息しており、比較的良好な生息環境を有している。

2 特に配慮すべき生物以外のもの（景観・文化財他）

本市の景観は、地形の変化による小さな崖地に残された自然樹林、市内に点在する保存樹、寺社等の点的な緑地と、市街地を取り巻く広大な田園地帯により構成されている。

文化財としては、二子古墳や三河万歳等の国指定を受けているものは5件あり、本證寺境内地、桜井町の棒の手等12件が県指定となっている。また、市指定の文化財は173件あり、そのうち45件が史跡となっている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本事業は、用水路のパイプライン化、排水路の改修、区画の大区画化、道路の拡幅等を行い営農条件の向上を図ることで担い手への農地集積を進め、高収益作物の拡大に資することを目的としている。

2 事業別面積

(第8表)

	事業名	農業用排水施設（用水）						農業用排水施設（排水）						区画整理						計	備 考
	土地 利用区分	水田	普通 畑	牧草 地	果樹 園	その 他	小計	水田	普通 畑	牧草 地	果樹 園	その 他	小計	水田	普通 畑	牧草 地	果樹 園	その 他	小計		
事業目的		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
用水改良		(93.6) 94.5	-	-	-	-	(93.6) 94.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(93.6) 94.5	登記簿面積より求積
排水改良		-	-	-	-	-	-	64.5	0.8	-	-	-	65.3	-	-	-	-	-	-	65.3	登記簿面積より求積
大区画化		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.3	-	-	-	3.2	83.5	83.5	登記簿面積より求積
計		(93.6) 94.5	-	-	-	-	(93.6) 94.5	64.5	0.8	-	-	-	65.3	80.3	-	-	-	3.2	83.5	(97.7) 98.5	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

現況の小区画農地を30a～50a区画とし、利用権の集積に努める。また、担い手農家への作業委託を進め、農業機械の大型化による低コスト営農を確立し、農業経営の安定を図るものとする。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
農業用排水施設 (用水)	現況	(93.7) 94.5	-	-	-	-	-	(93.7) 94.5	-	-	-	(93.7) 94.5	
	計画	(93.6) 94.5	-	-	-	-	-	(93.6) 94.5	-	-	-	(93.6) 94.5	
農業用排水施設 (排水)	現況	64.5	0.8	-	-	-	-	65.3	-	-	-	65.3	
	計画	64.5	0.8	-	-	-	-	65.3	-	-	-	65.3	
区画整理	現況	80.3	-	-	-	-	-	80.3	-	-	3.2	83.5	
	計画	80.3	-	-	-	-	-	80.3	-	-	3.2	83.5	
計	現況	(93.7) 94.5	0.8	-	-	-	-	(94.5) 95.3	-	-	3.2	(97.7) 98.5	
	計画	(93.6) 94.5	0.8	-	-	-	-	(94.4) 95.3	-	-	3.2	(97.7) 98.5	

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の 内訳 (t)		備 考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積当 り収量増加	
農業用排水施設（用水）	水田	表作	水稻	(51.7) 53.5	(51.6) 52.1	(△0.1) △ 1.4	(58) 60	58	(530) 515	(530) 515	-	(274.0) 275.5	(273.5) 268.3	(△0.5) △ 7.2	(△0.5) △ 7.2	-	
		裏作	小麦	(34.4) 35.7	(34.4) 34.7	(-) △ 1.0	(39) 40	39	(414) 528	(414) 528	-	(142.4) 188.5	(142.4) 183.2	(-) △ 5.3	(-) △ 5.3	-	
			大豆	(31.5) 32.8	(29.6) 31.8	(△1.9) △ 1.0	(36) 37	(34) 36	(122) 117	(122) 117	-	(36.1) 38.4	(△2.3) 37.2	(△2.3) △ 1.2	(△2.3) △ 1.2	-	
			キャベツ	1.9	2.9	1.0	2	3	(5,058) 4,910	(5,058) 4,910	-	(96.1) 93.3	(146.7) 142.4	(50.6) 49.1	(50.6) 49.1	-	
			ブロッコリー	1.0	(1.9) 1.0	(0.9) -	(2) 1	(2)	1,265	1,265	-	(24.0) 12.7	(11.3) -	(11.3) -	(11.3) -	-	
			きゅうり	(2.3) 0.5	(2.3) 2.3	(-) 1.8	(3) 1	3	(24,923) 25,079	(24,923) 25,079	-	(573.2) 125.4	(573.2) 576.8	(-) 451.4	(-) 451.4	-	
	計		([88.4]) (122.8) [89.7] 125.4	([88.3]) (122.7) [89.1] 124.8	(△0.1) △ 0.6	(139) 140	(139) 140										
農業用排水施設（排水）	水田	表作	水稻	35.0	35.0	-	57	57	(530) 515	(562) 546	(32) 31	(185.5) 180.3	(196.7) 191.1	(11.2) 10.9	- 10.9	(11.2) 10.9	
		裏作	小麦	23.4	23.4	-	38	38	(414) 528	(468) 597	(54) 69	(96.9) 123.6	(109.5) 139.7	(12.6) 16.2	- 16.2	(12.6) 16.2	
			大豆	20.5	18.6	△ 1.9	33	30	(122) 117	(183) 176	(61) 59	(25.0) 24.0	(34.0) 32.7	(9.0) 8.8	(△2.3) △ 2.2	(11.3) 11.0	
			キャベツ	1.9	2.9	1.0	3	5	(5,058) 4,910	(6,070) 5,892	(1,012) 982	(96.1) 93.3	(176.0) 170.9	(79.9) 77.6	(60.7) 58.9	(19.2) 18.7	
			ブロッコリー	1.0	1.9	0.9	2	3	1,265	1,493	228	12.7	28.4	15.7	13.4	2.3	
			きゅうり	2.3	2.3	-	4	4	(24,923) 25,079	(28,163) 28,339	(3,240) 3,260	(573.2) 576.8	(647.8) 651.8	(74.6) 75.0	-	(74.6) 75.0	
	畑	秋冬作	たまねぎ	0.8	0.8	-	1	1	(4,946) 5,237	(4,946) 5,237	-	(39.6) 41.9	(39.6) 41.9	-	-	-	
	計		[61.5] 84.9	[61.5] 84.9	- -	138	138										

*作付面積欄の計で[]内は実面積、外は延作付面積。
作付面積は、受益面積に本地率をかけたものである。

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備 考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当り収量増加	
区画整理	水田	表作	水稻	45.8	45.7	△ 0.1	60	60	(530) 515	(530) 515	-	(242.7) 235.9	(242.2) 235.4	(△0.5) △ 0.5	(△0.5) △ 0.5	-	現況・計画 本地率 田95%、畑100%
		裏作	小麦	30.6	30.6	-	40	40	(414) 528	(414) 528	-	(126.7) 161.6	(126.7) 161.6	-	-	-	
			大豆	27.7	25.8	△ 1.9	36	34	(122) 117	(122) 117	-	(33.8) 32.4	(31.5) 30.2	(△2.3) △ 2.2	(△2.3) △ 2.2	-	
			キャベツ	1.9	2.9	1.0	2	4	(5,058) 4,910	(5,058) 4,910	-	(96.1) 93.3	(146.7) 142.4	(50.6) 49.1	(50.6) 49.1	-	
			ブロッコリー	1.0	1.9	0.9	1	2	1,265	1,265	-	12.7	24.0	11.3	11.3	-	
		計		[76.4] 107.0	[76.3] 106.9	[△0.1] △ 0.1	140	140									
	合計			([89.2]) (123.6) [89.7] 123.8	([89.1]) (123.5) [89.6] 123.7	[△0.1] △ 0.1	(139) 138	(139) 138									

* 作付面積欄の計で[]内は実面積、外は延作付面積。
作付面積は、受益面積に本地率をかけたものである。

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備 考	
				区分	現況	計画	増減		
農業用排水施設（用水）	水田	水稲	(51.6)	人 力	35.5	30.4	△ 5.1	作付面積 上段： 計画 下段：[現況] △は減を示す。	
			([51.7])						
			52.1	機械力	5.4	5.4	－		
			[53.5]						
		小麦	(34.4)	人 力	13.1	13.1	－		
			([34.4])						
			34.7	機械力	(5.8)	(5.8)	－		
			[35.7]						
		大豆	(29.6)	人 力	27.8	27.8	－		
			([31.5])						
			31.8	機械力	10.0	10.0	－		
			[32.8]						
		キャベツ	2.9	人 力	70.1	70.1	－		
			[1.9]	機械力	10.9	10.9	－		
		ブロッコリー	(1.9)	人 力	132.2	132.2	－		
			1.0	機械力	7.2	7.2	－		
	[1.0]								
	きゅうり	([2.3])	人 力	1,803.0	1,803.0	－			
		2.3	機械力	－	－	－			
		[0.5]							
計	(122.7)								
	([122.8])								
	124.8								
	[125.4]								
事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備 考	
				区分	現況	計画	増減		
農業用排水施設（排水）	水田	水稲	35.0	人 力	35.5	25.2	△ 10.3	作付面積 上段： 計画 下段：[現況] △は減を示す。	
			[35.0]	機械力	6.4	3.7	△ 2.7		
		小麦	23.4	人 力	13.1	13.1	－		
			[23.4]	機械力	(5.8)	(5.8)	－		
		大豆	18.6	人 力	27.8	27.8	－		
			[20.5]	機械力	10.0	10.0	－		
		キャベツ	2.9	人 力	70.1	70.1	－		
			[1.9]	機械力	10.9	10.9	－		
		ブロッコリー	1.9	人 力	132.2	132.2	－		
			[1.0]	機械力	7.2	7.2	－		
		きゅうり	2.3	人 力	1803.0	1803.0	－		
			[2.3]	機械力	－	－	－		
	普通畑	たまねぎ	0.8	人 力	143.3	143.3	－		
			[0.8]	機械力	7.4	7.4	－		
	計		84.9						
			[84.9]						

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備 考
				区分	現況	計画	増減	
区画整理	水田	水稻	45.7	人 力	35.5	12.2	△ 23.3	作付面積 上段：計画 下段：[現況] △は減を示す。
			[45.8]	機械力	5.4	2.7	△ 2.7	
		小麦	30.6	人 力	13.1	5.1	△ 8.0	
			[30.6]	機械力	(5.8) 5.9	3.7	(△2.1) △ 2.2	
		大豆	25.8	人 力	27.8	4.9	△ 22.9	
			[27.7]	機械力	10.0	3.3	△ 6.7	
		キャベツ	2.9	人 力	70.1	44.3	△ 25.8	
			[1.9]	機械力	10.9	4.9	△ 6.0	
		ブロッコリー	1.9	人 力	132.2	113.8	△ 18.4	
			[1.0]	機械力	7.2	2.6	△ 4.6	
		計	106.9					
			[107.0]					
	合計		(123.5)					
			([123.6])					
			123.7					
			[123.8]					

6 級地別土地利用区分
該当なし

7 土地配分計画
該当なし

第3節 用水計画

1 計画基準年
昭和22年 国営矢作川用水の用水計画による。

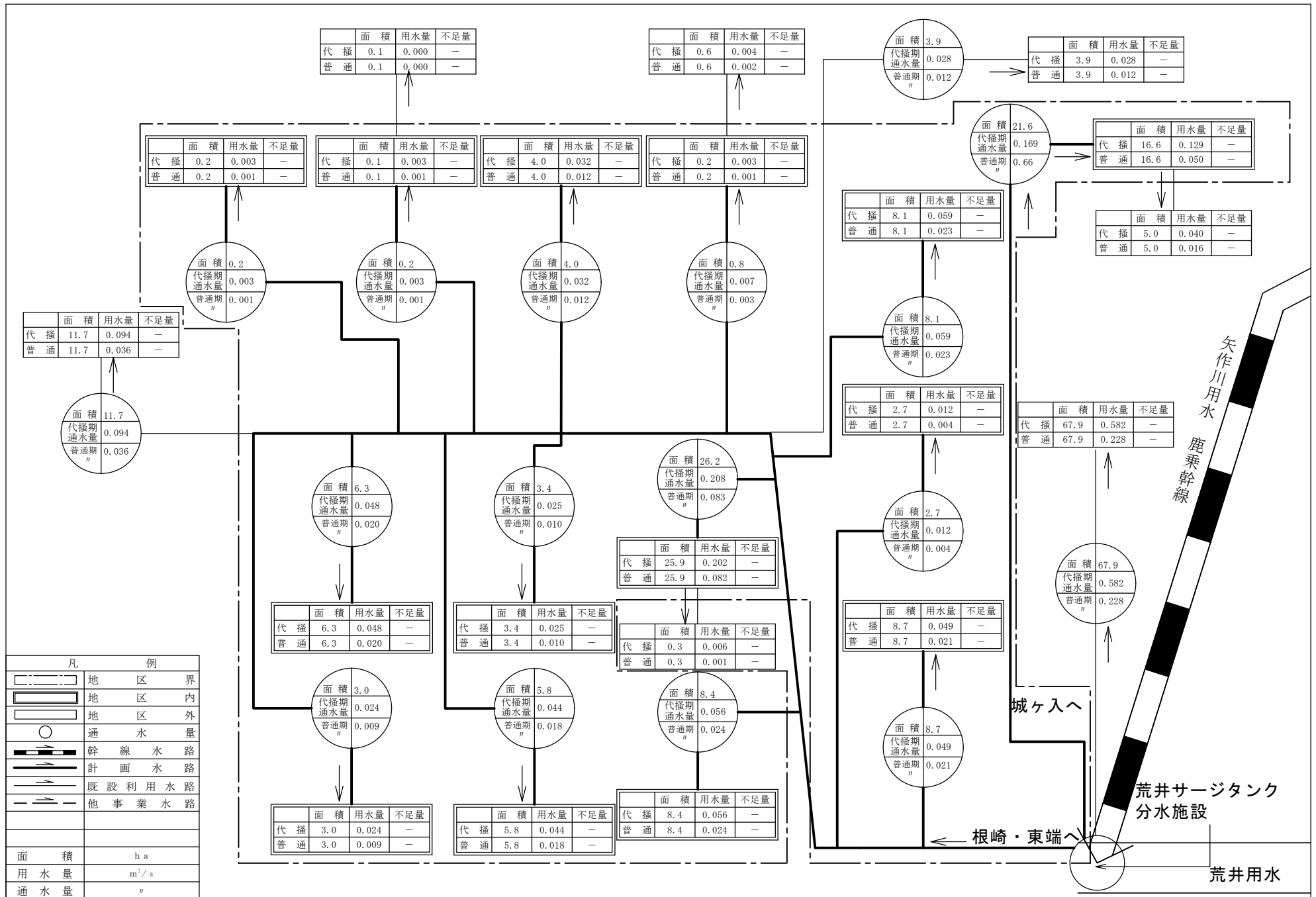
2 計画かんがい方式
かんがい方式
水田 パイプラインによる貯留かんがい方式

かんがい期間
水田（早期） 4月18日～10月10日 172日間（代掻期 4月18日～4月20日 3日間）

3 計画用水系統
（次頁 計画用水系統図参照）

計画用水系統図

(変更前)



(変更後)



4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m^3/s)	損失 率 (%)	粗用水量		備考			
		事業名		計	普通期	代掻期	面 積 (ha)	1日当 り計画 平均かん 水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	1日当 り計画 平均かん 水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	計 画 平 均 単 位 用水量 (mm/日)			面 積 (ha)	平 均 (m^3/s)		最 大 (m^3/s)		
		施設 (用水)	農業 用排水		計	画															計	画
					平	均															平	均
					単	位															単	位
用水量	用水量	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積				
(mm/日)	(mm/日)	(ha)	(mm/日)	(mm/日)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(ha)	(m^3/s)	(%)	(m^3/s)	(m^3/s)					
荒井用水	農 業 用 水	(93.6) 94.5	-	(93.6) 94.5	21.4	160	(93.6) 94.5	-	-	-	-	-	-	-	(0.617) 0.620	10	(0.276) 0.279	(0.689) 0.705				
計	農 業 用 水	(93.6) 94.5	-	(93.6) 94.5	-	-	(93.6) 94.5	-	-	-	-	-	-	-	(0.617) 0.620	-	(0.276) 0.279	(0.689) 0.705				

(2) 営農飲雑用水

該当なし

5 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水源 工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
	a (千m^3)	b (千m^3)	c=a-b (千m^3)	d=c/(1- α) (千m^3)		e (千m^3)	f (千m^3)	g=c-f (千m^3)	h=d-e (千m^3)		(千m^3)		損失率: α
農業用排水施設 (用水)	(2,223.1) 2,242.1	(134.6) 135.6	(2,088.5) 2,106.5	(2,320.6) 2,340.6	矢作川用水	(2,470.1) 2,491.2	(2,340.1) 2,360.1	-	-	矢作川用水	(2,320.6) 2,340.6	既設利用	10%
計	(2,223.1) 2,242.1	(134.6) 135.6	(2,088.5) 2,106.5	(2,320.6) 2,340.6		(2,470.1) 2,491.2	(2,340.1) 2,360.1	-	-		(2,320.6) 2,340.6		

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(ウ) 揚水機
該当なし

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m³/s)	延 長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名						
	農業用排水施設 (用水)		計				
支線用水路	(93.6) 94.5	—	(93.6) 94.5	0.798	(17.1) 17.3	VU : φ 100～600mm ALW : φ 700～1000mm	

(オ) その他の水源施設
該当なし

(3) 水質水温
該当なし

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

日雨量 169.9mm/日 (1/10年確率) 岡崎観測所の明治24年～平成30年までの既往128年間の観測記録から岩井法により確率雨量を求める。
R24 = 169.9mm/日 R4 = 69.4mm/4hr

2 計画排水方式

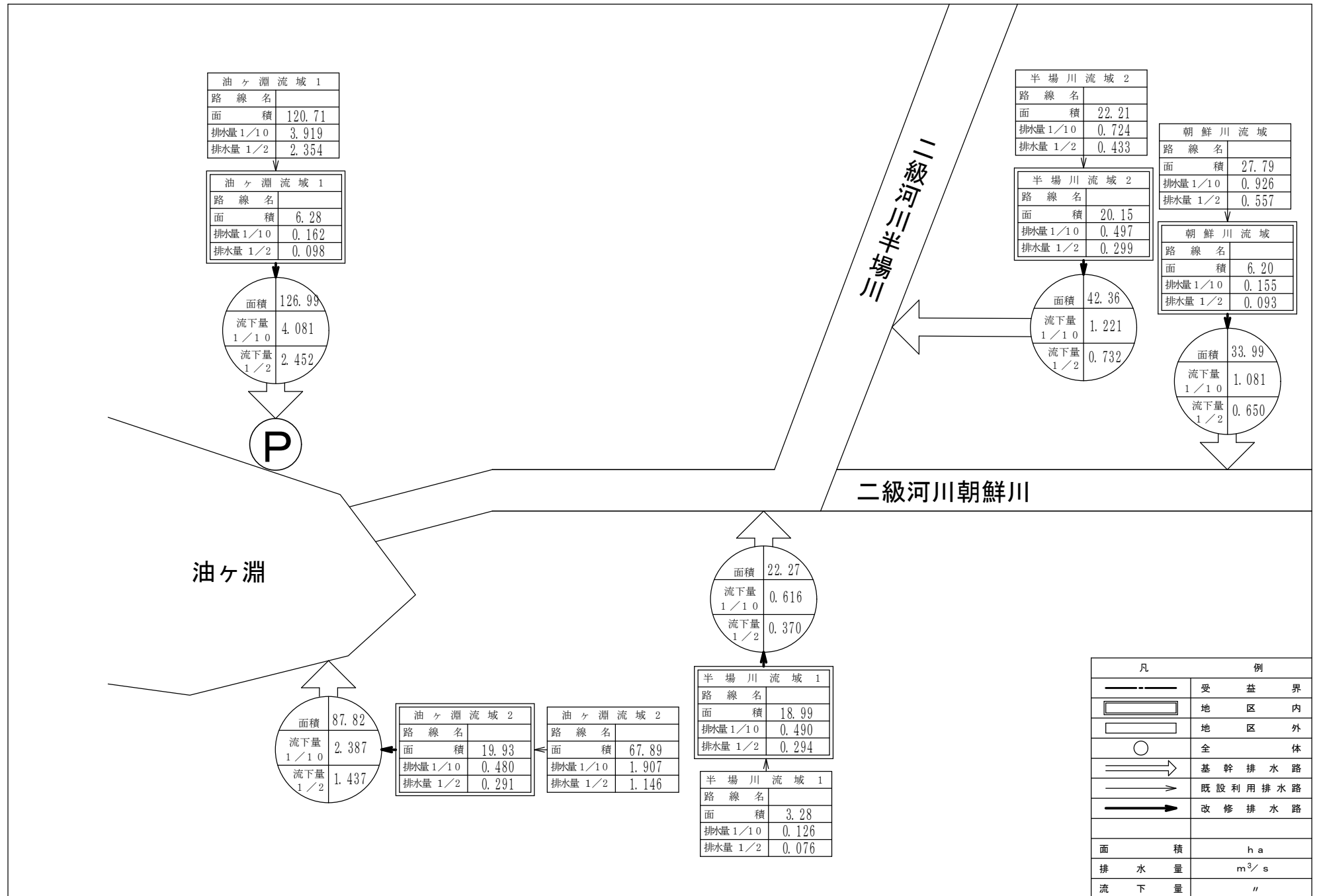
自然排水 . . . 4時間雨量・4時間排除

3 計画排水系統

(次頁 計画排水系統図 参照)

計画排水系統図

[変更なし]



4 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積(ha)			流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による直接単位 流出量(m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)		単位排出量 (m ³ /s/km ²)		備考	
	事業名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平 地		山地		平地
	施設 (農業用排水)	区 画 整 理	計									自然排水	機械排水			
油ヶ淵流域1	-	6.3	6.3	-	1.27	69.4	-	2.410 3.855	-	-	-	4.081	-	-	2.410 3.855	
油ヶ淵流域2	19.9	-	19.9	-	0.88	69.4	-	2.410 3.856	-	-	-	2.387	-	-	2.410 3.856	
半場川流域1	19.0	-	19.0	-	0.22	69.4	-	2.410 3.856	-	-	-	0.616	-	-	2.410 3.856	
半場川流域2	20.2	-	20.2	-	0.42	69.4	-	2.410 3.856	-	-	-	1.221	-	-	2.410 3.856	
朝鮮川流域	6.2	-	6.2	-	0.34	69.4	-	2.410 3.856	-	-	-	1.081	-	-	2.410 3.856	
計	65.3	6.3	71.6	-	3.13	-	-	-	-	-	-	9.386	-	-	-	

5 排水対策

(1) 排水水門
該当なし

(2) 排水機
該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (k m ²)	受益面積(ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排水本川			備 考
		事業名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農 業 用 設 用 (排 水)	区 画 整 理	計							
支線排水路	3. 13	65. 3	6. 3	71. 6	9. 386	7. 0	組立柵渠Ⅱ型	-	-	-	

(4) その他
該当なし

6 湛水検討
該当なし

第5節 道路計画

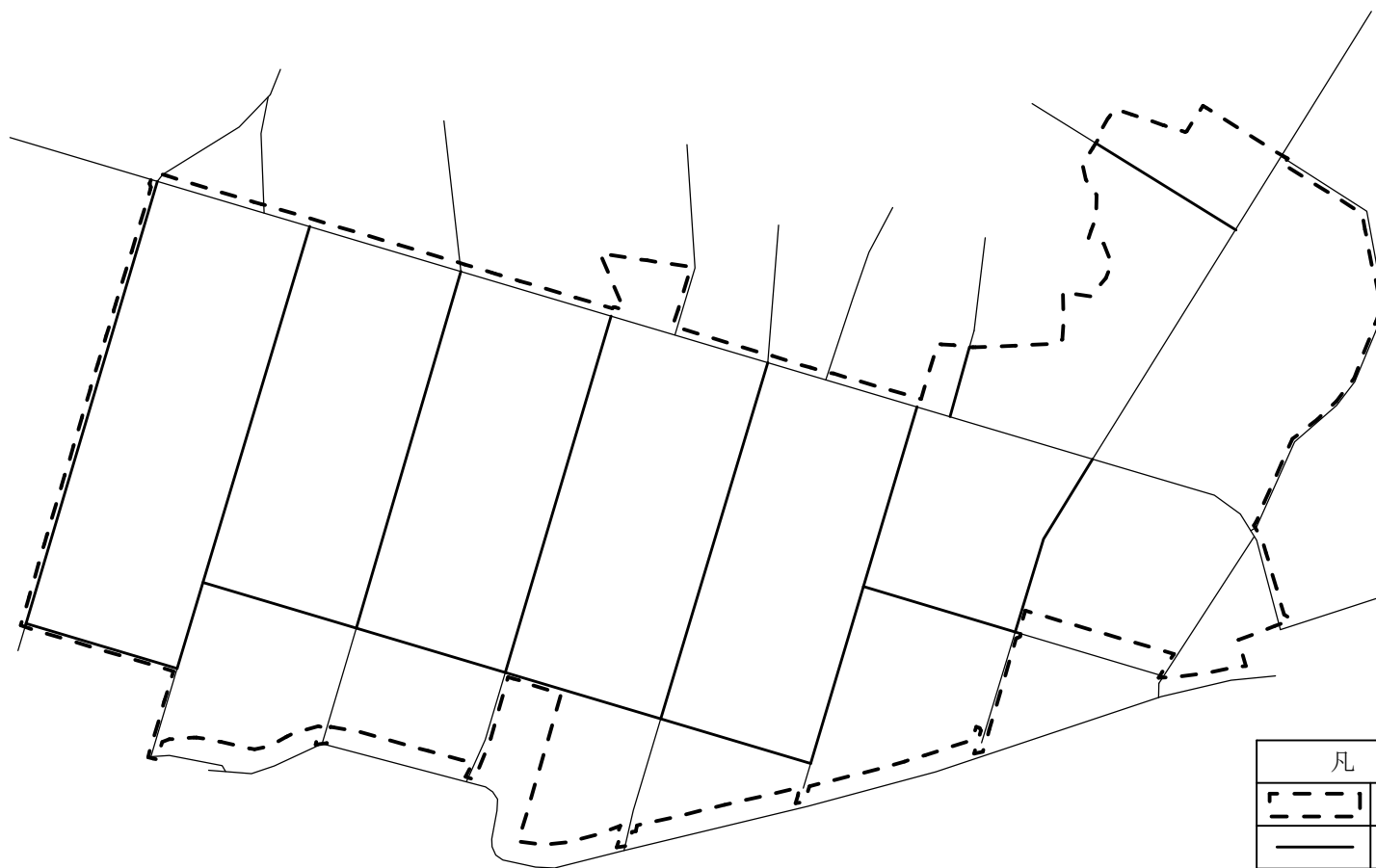
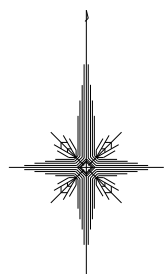
1 道路及び索道
(1) 道路

(第12表-1)

項目		幅（有効） × 延長 (km)		構 造	既設道路との関係	備 考
路線名						
支線道路		5.0	(4.0) × 2.5	砂利舗装	市道への連絡	区画整理

(2) 索道
該当なし

2 路線配置図
(次頁 計画道路配置図 参照)



凡	例
---	ほ場整備区域界
—	計 画 道 路
—	現 況 道 路

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1 区画整理

本地区は、基盤整備が行われているものの、区画は小さく一部の農道が狭い状況であり、近年では農業機械の大型化が進んでおり、効率的な営農が行えない状況である。このため、区画整理により連たんに大型機械が使用可能な区画への改良を実施し、効率的な営農及び農地の集積を図る。

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺 × 短辺 (m)		区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
水田	60×50	30	2.3	3	-	
	100×50	50	54.7	68	-	
	200×50	100	23.3	29	-	
計			80.3			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

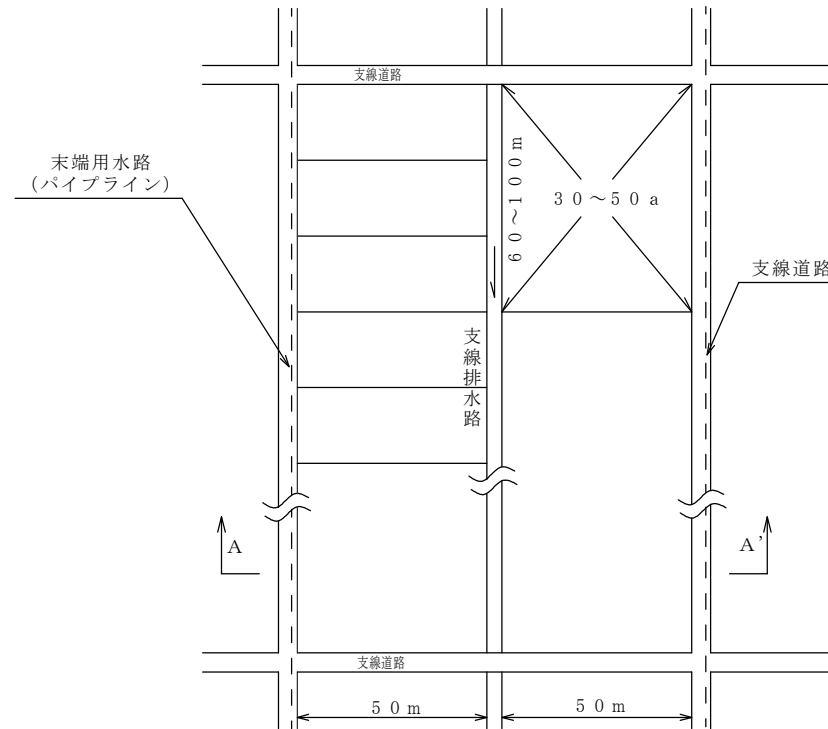
面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m³)	備考
12.4	高低差10cm以上	25	31,000	

(3) 末端道水路配置図

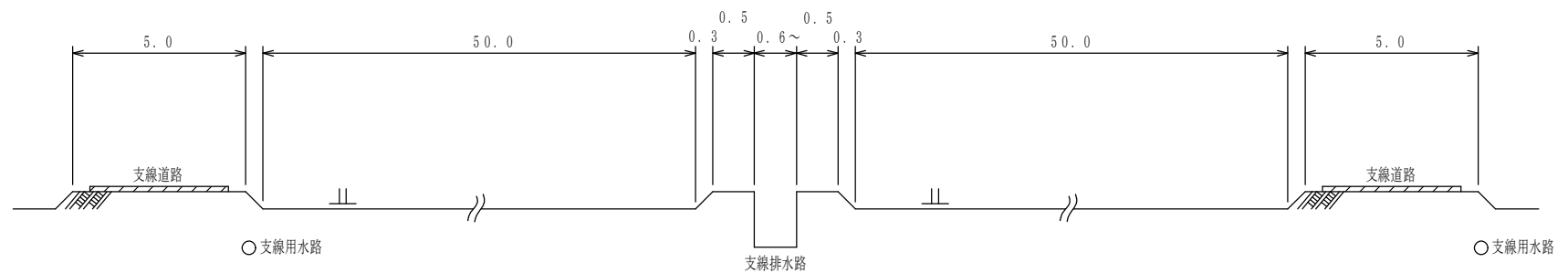
(次頁 末端道水路配置図参照)

末端道水路配置図

標準区画（水田）



A - A' 断面図（単位：m）



2 暗渠排水
該当なし

3 客 土
該当なし

4 農地保全
該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 貯水池
該当なし

2 頭首工
該当なし

3 揚水機
該当なし

4 用水路

(第17表-4)

項目 区分	かんがい面積 (ha)		通水量 (m^3/s)	延長 (km)			構造	勾配 (%)	主要構造物	備考
	事業名			開き よ	トンネル その他	計				
	農業用排水施設 (用水)	計								
支線用水路	(93.6) 94.5	(93.6) 94.5	0.006～0.798	-	(17.1) 17.3	(17.1) 17.3	VU : ϕ 100～ 600mm ALW : ϕ 700～ 1000mm	0.03～0.83	制水弁等	

5 その他かんがい施設
該当なし

第2節 排水施設

- 1 排水水門
該当なし
- 2 排水機
該当なし
- 3 排水路

(第18表-3)

区分 \ 項目	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配 (%)	主要構造物	備考	
	事業名				開きよ	トンネル その他	計					
	農業用排水 施設 (排水)	区画整理	計									
	支線排水路	65.3	6.3	71.6	9.386	7.0	-	7.0	組立柵渠Ⅱ型	0.05～0.20	-	

- 4 その他排水施設
該当なし

第3節 道路及び索道

- 1 道 路
(1) 道路の総括表

(第19表-1)

路線名	項目	路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構 造	付帯構造物			最 急 こう配 (%)	同左の 延 長 (m)	最 小 曲線半径 (m)	備考
					名称	構造	数量 (箇所)				
	支線道路	11路線	5.0 (4.0) × 2.5	砂利舗装	-	-	-	8%以内	2,495	-	

- (2) 道路主要構造物
該当なし

- 2 索 道
該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調整施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積(ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m³)	面積(ha)	土量(m³)	
安城荒井	2.3	30	12,643	1.5	3,750	水田
	54.7	50	19,747	3.5	8,750	水田
	23.3	100	30,288	7.4	18,500	水田

(2) 末端用水路等

該当なし

(3) 末端排水路等

該当なし

2 暗渠排水

該当なし

3 客土

該当なし

4 除礫

該当なし

5 農地保全

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 付帯工事計画

用地買収及び補償費

(1) 用地買収
該当なし

(2) 補償費
電柱 40本

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1 工期 着 手 令和2年度
(9)
完了予定 令和12年度 (予定)

2 工事の年度割予定
(変更前)

年度 工種	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
実施設計等									
農業用排水施設 (用水)									
農業用排水施設 (排水)									
区画整理									

(変更後)

年度 工種	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備考
実施設計等												
農業用排水施設 (用水)												
農業用排水施設 (排水)												
区画整理												

第8章 環境との調和への配慮

1 配慮の対象

本地区は、安城市田園環境整備マスタープランにおいて環境配慮区域となっており、工事対象である地区内の排水路には、水生生物が多くみられ、地域として個体数が減少しているマルタニシが生息する等、良好な生物生息空間が確保されている。マルタニシについては、本地区における保全対象物としている。工事に伴い、排水路への濁水や土砂流出等により、水生生物の生息環境への影響が懸念される。

2 配慮の方法

工事の施工中において、整備範囲内で発見した個体については整備範囲外へ移動させることで個体数への影響の軽減を図る。特に、保全対象生物であるマルタニシが確認された場合は、周辺の類似した生息環境である既設利用箇所へ移動させる。また、施工時期は保全生物が少ない時期を選ぶこととする。あわせて、濁水及び土砂流出の防止を図るとともに、低騒音・低振動・低排出ガス対策型建設機械を使用し、周辺環境に配慮する。

第9章 管理の要領

県営経営体育成基盤整備事業安城荒井地区により整備される土地改良施設のうち、用水施設は安城土地改良区、排水施設及び道路施設は安城市及び安城土地改良区が管理する。
県営経営体育成基盤整備事業荒井地区により整備される農地(整地工)は各受益者がそれぞれ管理する。

第10章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

生産基盤整備事業による高生産性農業が見込まれる大規模農地を整備することにより、将来の農業生産を担う経営体への農用地利用集積を積極的に進め、土地利用の合理化を図る換地計画を作成するものとする。

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在地	面積 (ha)
安城荒井	安城市東端町地内	26.3

2 換地区を設定する理由
該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地 積 の 基 準
安城荒井	換地交付の基準とする従前の土地の地籍は、土地改良事業計画確定の日の登記簿地籍とする。ただし、土地改良事業計画確定の日から6か月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して安城土地改良区へ申出があった場合には、その申出のあった地積とする。この場合、測量等にかかる費用は本人負担とする。

2 用途別予定地積

(単位：ha) (第25表-3)

用途 (取得 予定者)	換地区名	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地											機能交換に係る土地					一般国 公有地	総 合 計
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地域 に含める土地(令 第1条の9()書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			創設農用地	合計	特定用途 地			異種目 換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村 他	合計		
						土地 改良 施設	その他	小 計		改良 区	その他	計			宅 地	その他	計		農業 経営 合理化 施設 用地	生活 上・ 経営 上 必要 な 施設 用地	公用・ 公共 施設 用地	宅 地 等	計							
安城荒井	従前地	23.0	-	-	-	-	-	-	23.0	-	-	-	-	23.0	-	-	-	0.1	-	-	-	-	0.1	-	-	3.2	3.2	-	26.3	
	換地	23.0	-	-	-	-	-	-	23.0	-	-	-	-	23.0	-	-	-	0.1	-	-	-	-	0.1	-	-	3.2	3.2	-	26.3	

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別・グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
安城荒井		農用地利用集積促進区域別 集団化	経営体への農用地の利用集積を積極的に図る区域を設定する場合には、当該区域に係る権利者の承諾を得るようにするとともに、当該区域内に換地が定められることを希望する者は、できるだけ当該区域内に換地が定められるようにする。	1～2団地	移動畦畔

4 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の方法	換地取得予定者	その他
安城荒井	市道用地	安城市東端町地内	1,402	異種目換地	従前地所有者 (安城市)	
	合 計		1,402			

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

項目別増減点方式

土地の自然条件及び利用条件等を調査項目とし、地区内の最も標準的な土地を基準としてその他の土地を増減点評価し、換地・評価委員がその項目内における条件の程度を点数に置き換え、項目ごとに採点をし、その合計点数からその土地の等位を定め、その等位から価格評価する。

2 清算の方法

比例地積清算

従前、換地の評価額に基づき、その事業による価格上昇分を増加額として算出する。それを1㎡当たりの増加額に割り戻す事により各人別に換地交付基準額を算出し、各人の換地評価額を比較し清算する。

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
安城荒井	(8)	(9)	(9)	
	令和 11 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区の全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず、換地処分を行うことができる。

第11章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名		全体	農業用排水施設（用水）	農業用排水施設（排水）	区画整理	備 考
区分		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
事業費 ^{※1)}		(2, 251, 000)	(1, 627, 000)	(408, 000)	(216, 000)	
		2, 814, 000	2, 053, 600	502, 800	257, 600	
事務的経費 ^{※2)}		(159, 695)	(115, 475)	(28, 905)	(15, 315)	
		188, 300	137, 083	34, 091	17, 126	
計		(2, 410, 695)	(1, 742, 475)	(436, 905)	(231, 315)	
		3, 002, 300	2, 190, 683	536, 891	274, 726	
(関連事業 参考)	—					

(元)

令和7年度単価。消費税については10%で算定。(但し、物価変動により将来変動することがある。)

※1) 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2) 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第12章 効 用

(第27表)

事業名	項目	年総効果（便益）額 (千円)	年総増加農業所得額（千円）		備 考
			うち機能向上分		
全体	作物生産効果	(93, 233)	(29, 566)	(29, 566)	
		126, 446	32, 143	32, 143	
	品質向上効果	(2, 509)	—	—	
		1, 890	—	—	
	営農経費節減効果	(82, 401)	(89, 543)	(89, 543)	
		92, 956	100, 573	100, 573	
	維持管理費節減効果	(△301)	(5, 487)	(5, 487)	
		△221	6, 389	6, 389	
	営農に係る走行経費節減効果	(2, 488)	—	—	
		2, 601	—	—	
	耕作放棄防止効果	(8)	—	—	
		6	—	—	
	非農用地創設効果	(365)	—	—	
		452	—	—	
	国産農産物安定供給効果	(25, 341)	—	—	
		16, 757	—	—	
	計	(206, 044)	(124, 596)	(124, 596)	(3, 815, 303千円)
		240, 887	139, 105	139, 105	総便益額 5, 532, 360千円 (元) 令和7年度単価

事業名	項目 区分	年総効果（便益）額 （千円）	年総増加農業所得額（千円）		備 考
				うち機能向上分	
農業用排水施設 （用水）	作物生産効果	(69,077) 96,498	(3,328) 2,720	(3,328) 2,720	
	品質向上効果	(2,509) 1,890	-	-	
	営農経費節減効果	(△1,708) △1,811	(5,434) 5,806	(5,434) 5,806	
	維持管理費節減効果	(△260) △243	(4,747) 5,482	(4,747) 5,482	
	国産農産物安定供給効果	(22,243) 13,836	-	-	
	計	(91,861) 110,170	(13,509) 14,008	(13,509) 14,008	(1,819,391千円) (元) 総便益額 2,919,012千円 令和7年度単価
農業用排水施設 （排水）	作物生産効果	(24,156) 29,948	(26,238) 29,423	(26,238) 29,423	
	営農経費節減効果	(3,521) 3,612	(3,521) 3,612	(3,521) 3,612	
	維持管理費節減効果	(△41) 22	(740) 907	(740) 907	
	国産農産物安定供給効果	(3,098) 2,921	-	-	
	計	(30,734) 36,503	(30,499) 33,942	(30,499) 33,942	(514,297千円) (元) 総便益額 699,204千円 令和7年度単価
区画整理	営農経費節減効果	(80,588) 91,155	(80,588) 91,155	(80,588) 91,155	
	営農に係る走行経費節減効果	(2,488) 2,601	-	-	
	耕作放棄防止効果	(8) 6	-	-	
	非農用地創設効果	(365) 452	-	-	
	計	(83,449) 94,214	(80,588) 91,155	(80,588) 91,155	(1,409,615千円) (元) 総便益額 1,868,230千円 令和7年度単価

<参考>

① 当該事業費 :	(1,701,561) 2,708,270 千円
② その他費用 :	(407,344) 689,606 千円
③ 総費用（現在価値化） :	(2,108,905) 3,397,876 千円
④ 年償還額 :	(15,769) 22,145 千円/年
④'のうち機能向上分 :	(6,354) 7,695 千円/年
⑤ 年総効果（便益）額 :	(206,044) 240,887 千円/年
⑥ 現況年総農業所得額 :	(107,620) 114,992 千円/年
⑦ 年総増加農業所得額 :	(124,596) 139,105 千円/年
評価期間 :	(48) 51 年
割引率 :	0.04

⑧ 総便益額（現在価値化） :	(3,815,303) 5,532,360 千円
⑨ 総費用総便益比（⑧÷③） :	(1.80) $1.62 \geq 1.0$
⑩ 総所得償還率（④÷⑥） :	(14.7) $19.3 \leq 20.0\%$
⑪ 増加所得償還率（④'÷⑦） :	(5.1) $5.6 \leq 40.0\%$

第13章 関連する事業

該当なし

第14章 現況・計画平面図

別添のとおり

【農業用排水施設(用水)】

第1章 目 的

(93.7)

本地区は、安城市の南西部に位置し、二級河川半場川の両岸に跨る面積94.6haの水田地帯である。地形は概ね平坦であり、現況農地は大半が水田となっており、主に水稻、小麦、大豆、きゅうり、キャベツ、ブロッコリーが栽培されている。

本地域は、基盤整備が行われているものの、用水路は整備後約50年が経過していることから老朽化が進み、農作業や営農に多大な支障をきたしている。また、用水路のうち一部区間では施工後70年以上が経過し、施設の老朽化に伴う漏水が多く、農地にも影響が出ている状況である。

本事業は、用水路のパイプライン化による水管理の省力化と維持管理の改善を図り、営農条件の向上を図ることで担い手への農地集積を進め、高収益作物の拡大に資することを目的としている。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農業用排水施設（用水）	安城市 東端町、根崎町及び城ヶ入町

第2節 地 積

(2) (3)

(令和8年1月現在)

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農業用排水施設 (用水)	安城市	(93.7) 94.5	－	－	－	－	(93.7) 94.5	登記簿面積より求積

第3章 現 況

第1節 気 象

【全体】と同じ

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 ・ その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000	1/1,000 ～	1/100 ～	1/20 ～	1/11.5 ～	計	3°	3°	8° ～15°			15°	20°	計	最高	最低	
		以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	～ 8°	8° ～10°	10° ～12°	12° ～15°	～ 20°	以上				
農業用排水施設 (用水)	面 積 (ha)	-	(93.7) 94.5	-	-	-	(93.7) 94.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7	-0.3	
	比 率 (%)	-	100	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(第4表-1-2)

項 目 土壌統（区）名	土壌統（区）区分一覧表										面 積(ha)				備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事 業 名				
	色	腐植	礫層	酸 化 沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 グライ層			(排農 用水業 水施用 設備)			計	
					表土	下層土									
					一層	二層	三層								
開正統 E43	灰色/ 青灰色	なし	なし	糸根状含	壤質	壤質	壤質	80cm以上の心土 からグライ	水積	非固結 水成岩	(45.8) 46.6			(45.8) 46.6	水田
米津統 D32	青灰色	なし	なし	糸根状、 管状有～含	粘質	粘質	粘質	作土または、作 土直下からグライ	水積	非固結 水成岩	37.0			37.0	水田
針曾根統 F52	灰色	なし	なし	糸根状含	壤質～ 粘質	壤質～ 粘質	壤質～ 粘質	80cm以上 にはなし	水積	非固結 水成岩	10.9			10.9	水田
計											(93.7) 94.5			(93.7) 94.5	

2 土地分類

該当なし

3 土地利用の状況

(2) (3)
(令和8年1月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						原 野 (ha)	山 林 (ha)	採 草 放 牧 地 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	樹 ぞ 園 の 地 他 (ha)						
農業用排水施設 (用水)	安城市	(93.7) 94.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(93.7) 94.5	
	計	(93.7) 94.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(93.7) 94.5	

4 土地所有の状況

(2) (3)
(令和8年1月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有地等	国有地	県有地	市有地	改良区有地	計	備 考
農業用排水施設 (用水)	面 積 (ha)	(93.7) 94.5	-	-	-	-	(93.7) 94.5	
	受 益 者 数 (人)	(82) 83	-	-	-	-	(82) 83	
	筆 数 (筆)	(610) 621	-	-	-	-	(610) 621	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	-	
	備考(関係戸数)	(74) 75	-	-	-	-	(74) 75	

第3節 水利状況

- 1 用水状況
【全体】と同じ
- 2 排水状況
該当なし
- 3 河川状況
該当なし

第4節 道路概況

【全体】と同じ

第5節 地域農業の概況

【全体】と同じ

第6節 地域環境の概況

【全体】と同じ

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本事業は、用水路のパイプライン化による水管理の省力化と維持管理の改善を図り、営農条件の向上を図ることで担い手への農地集積を進め、高収益作物の拡大に資することを目的としている。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	農業用排水施設（用水）																計 (ha)	備 考
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	その他	小計												
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)												
事業目的	(93.6)					(93.6)											(93.6)	登記簿面積より求積
用水改良	94.5	-	-	-	-	94.5											94.5	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

現況の小区画農地を30a～50a区画とし、利用権の集積に努める。また、担い手農家への作業委託を進め、農業機械の大型化による低コスト営農を確立し、農業経営の安定を図るものとする。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
農業用排水施設（用水）	現況	(93.7) 94.5	-	-	-	-	-	(93.7) 94.5	-	-	-	(93.7) 94.5	
	計画	(93.6) 94.5	-	-	-	-	-	(93.6) 94.5	-	-	-	(93.6) 94.5	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年目												2 年目												3 年目												備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
農業用排水路（用水）	現況・計画	水稲	水田				○△							×				○△												○△																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の 内訳 (t)		備 考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積当 り収量増加	
農業用排水施設（用水）	水田	表作	水稻	(51.7) 53.5	(51.6) 52.1	(△0.1) △ 1.4	(58) 60	58	(530) 515	(530) 515	-	(274.0) 275.5	(273.5) 268.3	(△0.5) △ 7.2	(△0.5) △ 7.2	-	
		裏作	小麦	(34.4) 35.7	(34.4) 34.7	(-) △ 1.0	(39) 40	39	(414) 528	(414) 528	-	(142.4) 188.5	(142.4) 183.2	(-) △ 5.3	(-) △ 5.3	-	
			大豆	(31.5) 32.8	(29.6) 31.8	(△1.9) △2.0	(36) 37	(34) 36	(122) 117	(122) 117	-	(36.1) 38.4	(△2.3) 37.2	(△2.3) △1.2	(△2.3) △1.2	-	
			キャベツ	1.9	2.9	1.0	2	3	(5,058) 4,910	(5,058) 4,910	-	(96.1) 93.3	(146.7) 142.4	(50.6) 49.1	(50.6) 49.1	-	
			ブロッコリー	1.0	(1.9) 1.0	(0.9) -	(2) 1	(2)	1,265	1,265	-	(24.0) 12.7	(11.3) -	(11.3) -	(11.3) -	-	
			きゅうり	(2.3) 0.5	(2.3) 2.3	(-) 1.8	(3) 1	3	(24,923) 25,079	(24,923) 25,079	-	(573.2) 125.4	(573.2) 576.8	(-) 451.4	(-) 451.4	-	
		計	([88.4]) (122.8) [89.7] 125.4	([88.3]) (122.7) [89.1] 124.8	[0.1] △0.1	(139) 140	(139) 140										

* 作付面積欄の計で[]内は実面積、外は延作付面積。
作付面積は、受益面積に本地率をかけたものである。

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当り労働投下量(hr/10a)				備 考
				区分	現況	計画	増減	
農業用排水施設(用水)	水田	水稻	(51.6)	人 力	35.5	30.4	△ 5.1	作付面積 上段：計画 下段：[現況] △は減を示す。
			([51.7])					
			52.1	機械力	5.4	5.4	-	
			[53.5]					
		小麦	(34.4)	人力	13.1	13.1	-	
			([34.4])					
			34.7	機械力	(5.8)	(5.8)	-	
			[35.7]		5.9	5.9	-	
		大豆	(29.6)	人力	27.8	27.8	-	
			([31.5])					
			31.8	機械力	10.0	10.0	-	
			[32.8]					
		キャベツ	2.9	人力	70.1	70.1	-	
			[1.9]	機械力	10.9	10.9	-	
		ブロッコリー	(1.9)	人力	132.2	132.2	-	
			1.0					
			[1.0]	機械力	7.2	7.2	-	
		きゅうり	2.3	人力	1803.0	1803.0	-	
			([2.3])					
			[0.5]	機械力	-	-	-	
	計		(122.7)					
			([122.8])					
			124.8					
			[125.4]					

6 級地別土地利用区分

該当なし

7 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

【全体】と同じ

第4節 排水計画

該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

【全体】と同じ

第2節 排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調整施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 付帯工事計画

【全体】と同じ

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1	工期	着手	令和2年度 (9)	
		完了予定	令和12年度	(予定)

2 工事の年度割予定
(変更前)

[illegible]

(変更後)

[illegible]

第8章 環境との調和への配慮

【全体】と同じ

第9章 管理の要領

【全体】と同じ

第10章 換地計画の概要

該当なし

第11章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分 \ 事業名		農業用排水施設（用水） （千円）				備 考
事業費※1)		(1, 627, 000) 2, 053, 600				
事務的経費※2)		(115, 475) 137, 083				
計		(1, 742, 475) 2, 190, 683				
（関連事業 参考）	—					

(元)

令和7年度単価。消費税については10%で算定。（但し、物価変動により将来変動することがある。）

※1) 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2) 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第12章 効 用

(第27表)

事業名	区分 \ 項目	年総効果（便益）額 （千円）	年総増加農業所得額（千円）		備 考
				うち機能向上分	
農業用排水施設 （用水）	作物生産効果	(69,077) 96,498	(3,328) 2,720	(3,328) 2,720	
	品質向上効果	(2,509) 1,890	-	-	
	営農経費節減効果	(△1,708) △1,811	(5,434) 5,806	(5,434) 5,806	
	維持管理費節減効果	(△260) △243	(4,747) 5,482	(4,747) 5,482	
	国産農産物安定供給効果	(22,243) 13,836	-	-	
	計	(91,861) 110,170	(13,509) 14,008	(13,509) 14,008	(1,819,391千円) (元) 総便益額 2,919,012千円 令和7年度単価

<参考>

① 当該事業費：	(1,223,530) 1,989,261 千円	⑧ 総便益額（現在価値化）：	(1,891,391) 2,919,012 千円
② その他費用：	(370,254) 636,215 千円	⑨ 総費用総便益比（⑧÷③）：	(1.18) 1.11 ≥ 1.0
③ 総費用（現在価値化）：	(1,593,784) 2,625,476 千円	⑩ 総所得償還率（④÷⑥）：	(10.2) 14.1 ≤ 20.0%
④ 年償還額：	(10,948) 16,162 千円/年	⑪ 増加所得償還率（④' ÷ ⑦）：	(11.9) 14.7 ≤ 40.0%
④' うち機能向上分：	(1,610) 2,055 千円/年		
⑤ 年総効果（便益）額：	(91,861) 110,170 千円/年		
⑥ 現況年総農業所得額：	(107,620) 114,992 千円/年		
⑦ 年総増加農業所得額：	(13,509) 14,008 千円/年		
評価期間：	(48) 51 年		
割引率：	0.04		

第13章 関連する事業

該当なし

第14章 現況・計画平面図

別添のとおり

【農業用排水施設（排水）】

第1章 目的

本地区は、安城市の南西部に位置し、二級河川半場川の両岸に跨る面積65.3haの水田地帯である。地形は概ね平坦であり、現況農地は大半が水田となっており、主に水稻、小麦、大豆、きゅうり、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎが栽培されている。

本地域は、基盤整備が行われているものの、排水路は整備後約50年が経過していることから老朽化が進み、農作業や営農に多大な支障をきたしている。排水不良農地では一部区画で作付を行うことができず、範囲も年々拡大していることから早急の対応が望まれている。

本事業は、排水路の整備により水田の汎用化を図り、営農条件の向上を図ることで担い手への農地集積を進め、高収益作物の拡大に資することを目的としている。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農業用排水施設（排水）	安城市 根崎町及び城ヶ入町

第2節 地積

(2) (3)

(令和8年1月現在)

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
農業用排水施設 （排水）	安城市	64.5	0.8	-	-	-	65.3	登記簿面積より求積

第3章 現況

第1節 気象

【全体】と同じ

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 ・ その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000	1/1,000 ～	1/100 ～	1/20 ～	1/11.5 ～	計	3°	3° ～	8° ～15°			15° ～	20°	計	最高	最低	
		以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	8°	8° ～10°	10° ～12°	12° ～15°	20° 以上					
農業用排水施設 (排水)	面 積 (ha)	-	64.5	-	-	-	64.5	0.8	-	-	-	-	-	-	0.8	2.1	-0.2	
	比 率 (%)	-	100	-	-	-	100	100	-	-	-	-	-	-	100	-	-	

(第4表-1-2)

項 目 土壌統（区）名	土壌統（区）区分一覧表										面 積(ha)			備考	
	土壌断面								堆積様式	母材	事 業 名				
	色	腐植	礫層	酸 化 沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 グライ層			(排水施設)	農 業 用 地	計		
					表土	下層土									
					一層	二層	三層								
開正統 E43	灰色/ 青灰色	なし	なし	糸根状含	壤質	壤質	壤質	80cm以上の心土 からグライ	水積	非固結 水成岩	41.4			41.4	水田
米津統 D32	青灰色	なし	なし	糸根状、 管状有～含	粘質	粘質	粘質	作土または、作 土直下からグライ	水積	非固結 水成岩	13.0			13.0	水田
針曾根統 F52	灰色	なし	なし	糸根状含	壤質～ 粘質	壤質～ 粘質	壤質～ 粘質	80cm以上 にはなし	水積	非固結 水成岩	10.1			10.1	水田
奥田統 o	黄灰色	なし	なし	あり	砂質	砂質	砂質	-	水積	非固結 水成岩	0.8			0.8	畑
計											65.3			65.3	

2 土地分類

該当なし

3 土地利用の状況

(2) (3)
(令和8年1月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						原 野 (ha)	山 林 (ha)	採 草 放 牧 地 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	樹 ぞ 園 の 地 他 (ha)						
農業用排水施設 (排水)	安城市	64.5	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	65.3	
	計	64.5	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	65.3	

4 土地所有の状況

(2) (3)
(令和8年1月現在) (第4表-4)

事業名	区分 所有別	個人有地等	国有地	県有地	市有地	改良区有地	計	備 考
農業用排水施設 (排水)	面 積 (ha)	65.3	-	-	-	-	65.3	
	受 益 者 数 (人)	72	-	-	-	-	72	
	筆 数 (筆)	430	-	-	-	-	430	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	-	
	備考(関係戸数)	66	-	-	-	-	66	

第3節 水利状況

1 用水状況

該当なし

2 排水状況

排水は油ヶ淵、半場川、朝鮮川の同一水系（二級河川高浜川水系）へと排水しているが、老朽化及び能力・敷高不足により排水不良が生じている。

（1）排水系統

（次頁 現況排水系統図参照）

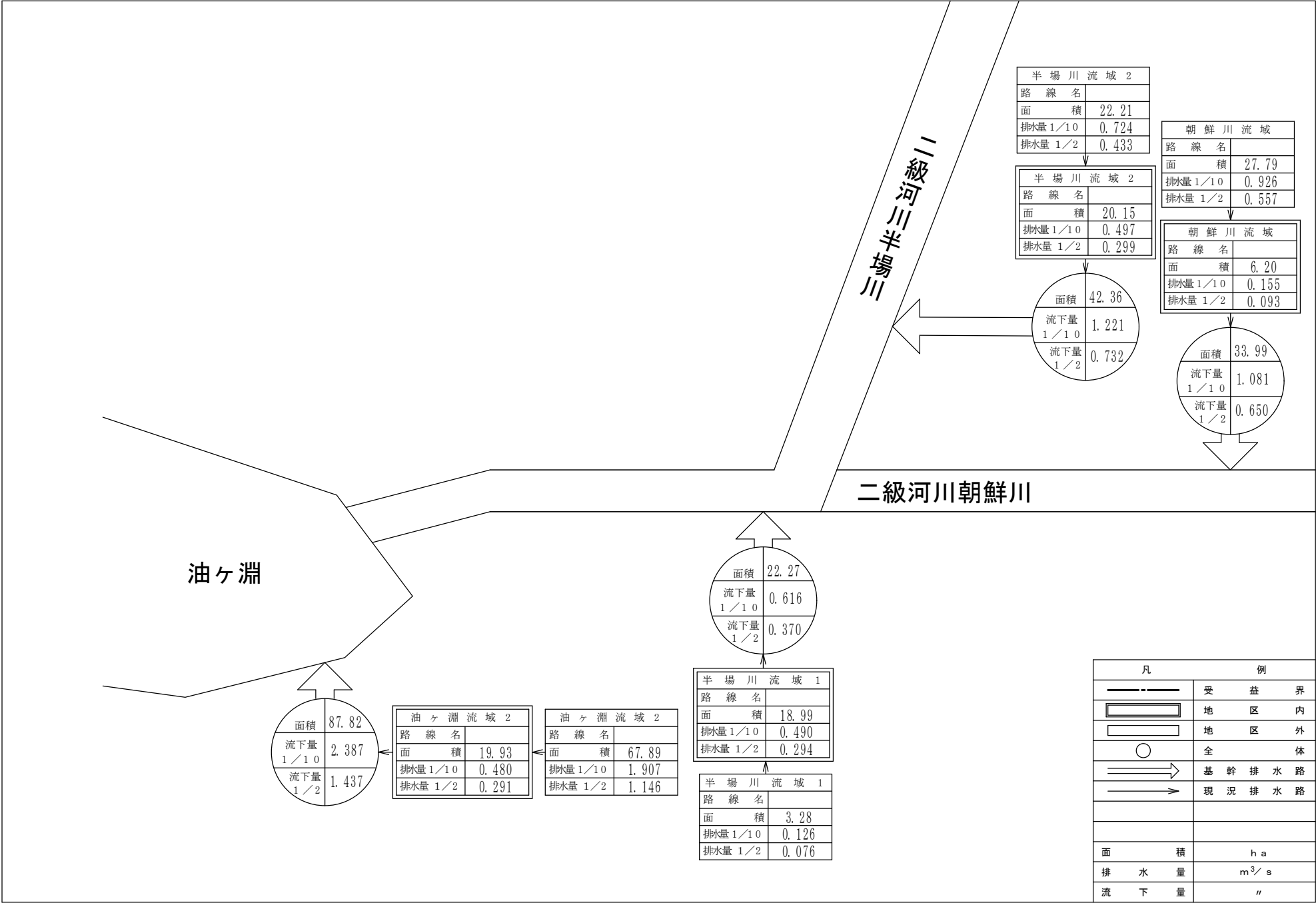
（2）排水施設

（ア）排水方法一覧表

（第5表-4）

事業名	項目 施設名		排 水 面 積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備 考
			500ha以上		500～100ha		100ha未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
農業 （排水） 施設	自然	排水路	-	-	4	[65.3] 186.4	-	-	4	[65.3] 186.4	-	8.8	
		水 門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計		-	-	4	[65.3] 186.4	-	-	4	[65.3] 186.4	-	8.8	

[]は地区内分



(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模 (mm)	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
農業 用排水 施設	自然	排水路	農業用排水路 6.5km	65.3	U型水路 組立柵渠	400×400～ 600×1000	S40	能力不足及び老朽 化による機能低下	
		水 門	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	
	計		-	65.3	-	-	-	-	

(3) 排水に関する被害状況
該当なし

3 河川状況
該当なし

第4節 道路概況

【全体】と同じ

第5節 地域農業の概況

【全体】と同じ

第6節 地域環境の概況

【全体】と同じ

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本事業は、排水路の整備により水田の汎用化を図り、営農条件の向上を図ることで担い手への農地集積を進め、高収益作物の拡大に資することを目的としている。

2 事業別面積

(第8表)

	事業名	農業用排水施設（排水）																計 (ha)	備 考
	土地 利用区分	水田	普通 畑	牧草 地	果 樹 園	そ の 他	小計												
事業目的		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)											(ha)	
排水改良		64.5	0.8	-	-	-	65.3											65.3	登記簿面積より求積

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

現況の小区画農地を30a～50a区画とし、利用権の集積に努める。また、担い手農家への作業委託を進め、農業機械の大型化による低コスト営農を確立し、農業経営の安定を図るものとする。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
農業用排水施設 (排水)	現況	64.5	0.8	-	-	-	-	65.3	-	-	-	65.3	
	計画	64.5	0.8	-	-	-	-	65.3	-	-	-	65.3	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年目												2 年目												3 年目												備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
農業用排水路（排水）	現況・計画	水稻	水田				○△				×								○△			×									○△			×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の 内訳 (t)		備 考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積当 り収量増加	
農業用排水施設 (排水)	水田	表作	水稻	35.0	35.0	-	57	57	(530) 515	(562) 546	(32) 31	(185.5) 180.3	(196.7) 191.1	(11.2) 10.9	-	(11.2) 10.9	
		裏作	小麦	23.4	23.4	-	38	38	(414) 528	(468) 597	(54) 69	(96.9) 123.6	(109.5) 139.7	(12.6) 16.2	-	(12.6) 16.2	
			大豆	20.5	18.6	△ 1.9	33	30	(122) 117	(183) 176	(61) 59	(25.0) 24.0	(34.0) 32.7	(9.0) 8.8	(△2.3) △ 2.2	(11.3) 11.0	
			キャベツ	1.9	2.9	1.0	3	5	(5,058) 4,910	(6,070) 5,892	(1,012) 982	(96.1) 93.3	(176.0) 170.9	(79.9) 77.6	(60.7) 58.9	(19.2) 18.7	
			ブロッコリー	1.0	1.9	0.9	2	3	1,265	1,493	228	12.7	28.4	15.7	13.4	2.3	
			きゅうり	2.3	2.3	-	4	4	(24,923) 25,079	(28,163) 28,339	(3,240) 3,260	(573.2) 576.8	(647.8) 651.8	(74.6) 75.0	-	(74.6) 75.0	
	畑	秋冬作	たまねぎ	0.8	0.8	-	1	1	(4,946) 5,237	(4,946) 5,237	-	41.9	41.9	-	-	-	
	計			[61.5] 84.9	[61.5] 84.9	- -	138	138									

*作付面積欄の計で[]内は実面積、外は延作付面積。
作付面積は、受益面積に本地率をかけたものである。

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業 業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当り労働投下量(hr/10a)				備 考
				区分	現況	計画	増減	
農業用排水施設（排水）	水田	水稲	35.0	人 力	35.5	25.2	△ 10.3	作付面積 上段：計画 下段：[現況] △は減を示す。
			[35.0]	機械力	6.4	3.7	△ 2.7	
		小麦	23.4	人 力	13.1	13.1	-	
			[23.4]	機械力	(5.8)	(5.8)	-	
		大豆	18.6	人 力	27.8	27.8	-	
			[20.5]	機械力	10.0	10.0	-	
		キャベツ	2.9	人 力	70.1	70.1	-	
			[1.9]	機械力	10.9	10.9	-	
		ブロッコリー	1.9	人 力	132.2	132.2	-	
			[1.0]	機械力	7.2	7.2	-	
		きゅうり	2.3	人 力	1803.0	1803.0	-	
			[2.3]	機械力	-	-	-	
	普通畑	たまねぎ	0.8	人 力	143.3	143.3	-	
			[0.8]	機械力	7.4	7.4	-	
	計	84.9						
		[84.9]						

6 級地別土地利用区分

該当なし

7 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

該当なし

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

日雨量 169.9mm/日 (1/10年確率) 岡崎観測所の明治24年～平成30年までの既往128年間の観測記録から岩井法により確率雨量を求める。
R24 = 169.9mm/日 R4 = 69.4mm/4hr

2 計画排水方式

自然排水 . . . 4時間雨量・4時間排除

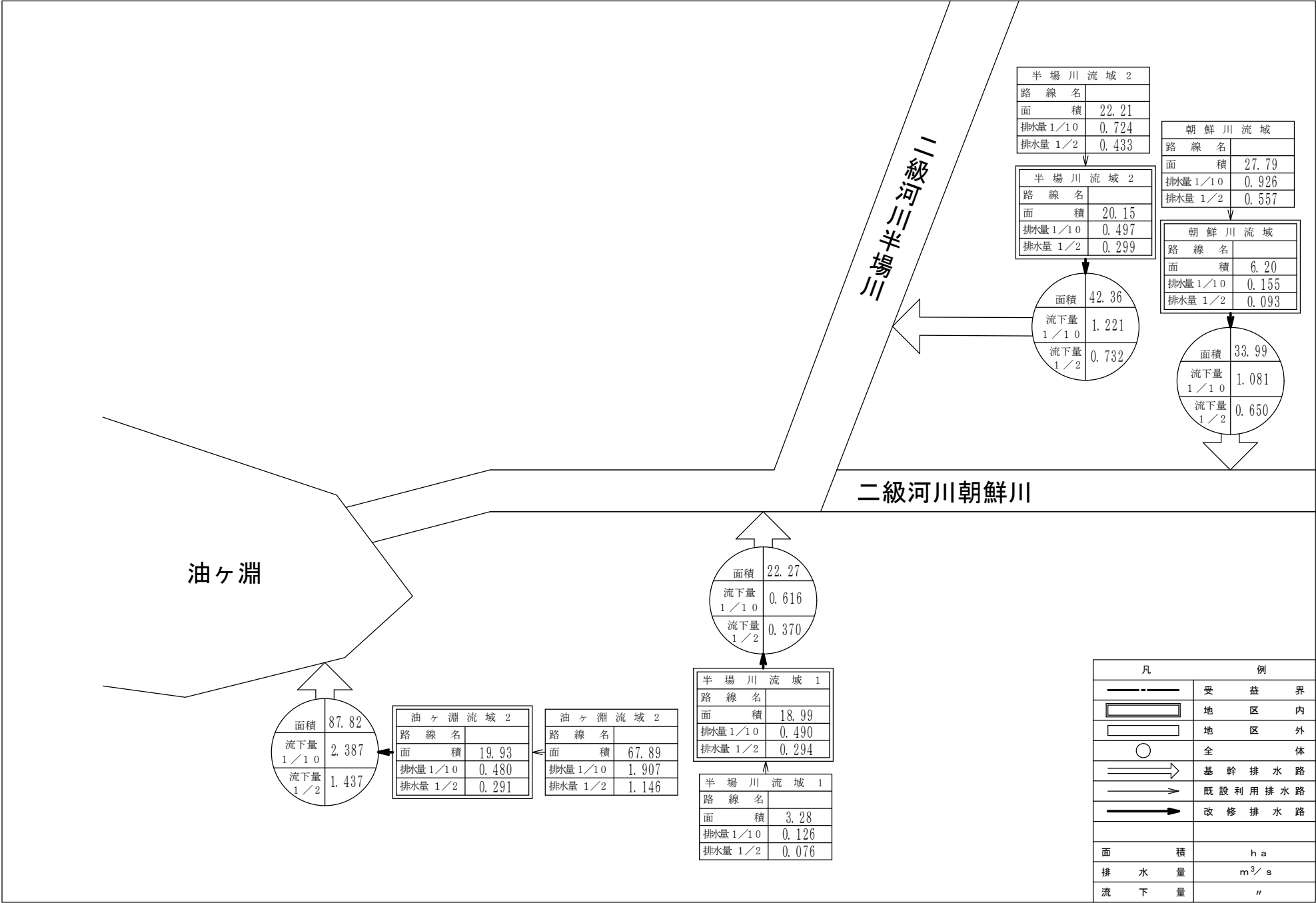
3 計画排水系統

(次頁 計画排水系統図 参照)

4 計画排水量

(第11表-1)

排水系統名	項目			受益面積 (ha)		流域面積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)		単位排出量 (m ³ /s/km ²)		備考					
	事業名			山地	平地	山地	平地 上段：農地 下段：その他		山地	平地	山地	平 地		山地	平地 上段：農地 下段：その他							
	施設 農業用 (排水)	計																				
油ヶ淵流域2	19.9	-	19.9	-	0.88	69.4	-	2.410 3.856	-	-	-	2.387	-	-	2.410 3.856							
半場川流域1	19.0	-	19.0	-	0.22	69.4	-	2.410 3.856	-	-	-	0.616	-	-	2.410 3.856							
半場川流域2	20.2	-	20.2	-	0.42	69.4	-	2.410 3.856	-	-	-	1.221	-	-	2.410 3.856							
朝鮮川流域	6.2	-	6.2	-	0.34	69.4	-	2.410 3.856	-	-	-	1.081	-	-	2.410 3.856							
計	65.3	-	65.3	-	1.86	-	-	-	-	-	-	5.305	-	-	-							



5 排水対策

(1) 排水水門
該当なし

(2) 排水機
該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排水本川			備 考
		事業名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農 業 用 設 備 (排水)		計							
支線排水路	1. 86	65. 3	-	65. 3	5. 305	6. 5	組立柵渠Ⅱ型	-	-	-	

(4) その他
該当なし

6 湛水検討
該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

該当なし

第2節 排水施設

1 排水水門

該当なし

2 排水機

該当なし

3 排水路

(第18表-3)

区分	項目	受益面積 (ha)		排水量 (m^3/s)	延長 (km)			構造	勾配 (%)	主要構造物	備考	
		事業名			開きよ	トンネル その他	計					
		農業用排水 施設 (排水)	計									
	支線排水路	65.3	-	65.3	5.305	6.5	-	6.5	組立柵渠Ⅱ型	0.05～0.20	-	

4 その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調整施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 付帯工事計画

【全体】と同じ

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1	工期	着手	令和2年度 (9)	
		完了予定	令和12年度	(予定)

2 工事の年度割予定
(変更前)

工種 \ 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
実施設計等									
農業用排水施設 (排水)									

(変更後)

[illegible]

第8章 環境との調和への配慮

【全体】と同じ

第9章 管理の要領

【全体】と同じ

第10章 換地計画の概要

該当なし

第11章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分 \ 事業名		農業用排水施設（排水） （千円）				備 考
事業費 ^{※1}		(408, 000) 502, 800				
事務的経費 ^{※2}		(28, 905) 34, 091				
計		(436, 905) 536, 891				
（関連事業）	—					
	—					

(元)

令和7年度単価。消費税については10%で算定。（但し、物価変動により将来変動することがある。）

※1) 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2) 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号（設）農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第12章 効 用

(第27表)

事業名	区分 \ 項目	年総効果（便益）額 （千円）	年総増加農業所得額（千円）		備 考
				うち機能向上分	
農業用排水施設（排水）	作物生産効果	(24, 156) 29, 948	(26, 238) 29, 423	(26, 238) 29, 423	
	営農経費節減効果	(3, 521) 3, 612	(3, 521) 3, 612	(3, 521) 3, 612	
	維持管理費節減効果	(△41) 22	(740) 907	(740) 907	
	国産農産物安定供給効果	(3, 098) 2, 921	— —	— —	
	計	(30, 734) 36, 503	(30, 499) 33, 942	(30, 499) 33, 942	(514, 297千円) (元) 総便益額 699, 204千円 令和7年度単価

<参考>

① 当該事業費 :	(309,034) 462,743 千円	⑧ 総便益額 (現在価値化) :	(514,297) 699,204 千円
② その他費用 :	(33,544) 47,888 千円	⑨ 総費用総便益比 (⑧ ÷ ③) :	(1.50) $1.36 \geq 1.0$
③ 総費用 (現在価値化) :	(342,578) 510,631 千円	⑩ 総所得償還率 (④ ÷ ⑥) :	(3.5) $4.0 \leq 20.0\%$
④ 年償還額 :	(3,300) 3,957 千円/年	⑪ 増加所得償還率 (④' ÷ ⑦) :	(10.8) $10.9 \leq 40.0\%$
④' うち機能向上分 :	(3,275) 3,679 千円/年		
⑤ 年総効果 (便益) 額 :	(30,734) 36,503 千円/年		
⑥ 現況年総農業所得額 :	(95,892) 100,631 千円/年		
⑦ 年総増加農業所得額 :	(30,499) 33,942 千円/年		
評価期間 :	(48) 51 年		
割引率 :	0.04		

第13章 関連する事業

該当なし

第14章 現況・計画平面図

別添のとおり

【区画整理】

第1章 目的

本地区は、安城市の南西部に位置し、二級河川半場川の両岸に跨る面積83.6haの水田地帯である。地形は概ね平坦であり、現況農地は大半が水田となっており、主に水稻、小麦、大豆、きゅうり、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎが栽培されている。

本事業は、換地を伴う区画整理による道路の拡幅及び畦畔除去による営農区画の拡大を実施し、営農条件の向上を図ることで担い手への農地集積を進め、高収益作物の拡大に資することを目的としている。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
区画整理	安城市 東端町、根崎町及び城ヶ入町

第2節 地積

(2) (3)
(令和8年1月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	安城市	80.3	-	-	-	3.2	83.5	登記簿面積より求積

第3章 現況

第1節 気象

【全体】と同じ

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 ・ その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000	1/1,000 ～	1/100 ～	1/20 ～	1/11.5 ～	計	3°	3° ～	8° ～15°			15° ～	20° 以上	計	最高	最低	
		以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	8°	8° ～10°	10° ～12°	12° ～15°	20°					
区画整理	面 積 (ha)	-	80.3	-	-	-	80.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	-0.2	
	比 率 (%)	-	100	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(第4表-1-2)

項 目 土壌統（区）名	土壌統（区）区分一覧表										面 積(ha)				備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事 業 名				
	色	腐植	礫層	酸 化 沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 グライ層			区 画 整 理			計	
					表土	下層土									
					一層	二層	三層								
開正統 E43	灰色/ 青灰色	なし	なし	糸根状含	壤質	壤質	壤質	80cm以上の心土 からグライ	水積	非固結 水成岩	37.8			37.8	水田
米津統 D32	青灰色	なし	なし	糸根状、 管状有～含	粘質	粘質	粘質	作土または、作 土直下からグライ	水積	非固結 水成岩	33.0			33.0	水田
針曾根統 F52	灰色	なし	なし	糸根状含	壤質～ 粘質	壤質～ 粘質	壤質～ 粘質	80cm以上 にはなし	水積	非固結 水成岩	9.5			9.5	水田
計											80.3			80.3	

2 土地分類

該当なし

3 土地利用の状況

(2) (3)
(令和8年1月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						原 野 (ha)	山 林 (ha)	採 草 放 牧 地 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	樹 ぞ 園 の 地 他 (ha)						
区画整理	安城市	80.3	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	83.5	
	計	80.3	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	83.5	

4 土地所有の状況

(2) (3)
(令和8年1月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有地等	国有地	県有地	市有地	改良区有地	計	備 考
区画整理	面 積 (ha)	80.3	-	-	3.2	-	83.5	
	受 益 者 数 (人)	67	-	-	-	-	67	
	筆 数 (筆)	532	-	-	87	-	619	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	-	
	備考(関係戸数)	61	-	-	-	-	61	

第3節 水利状況

1 用水状況

該当なし

2 排水状況

排水は油ヶ淵（二級河川高浜川水系）へと排水しているが、老朽化及び能力・敷高不足により排水不良が生じている。

（1）排水系統

（次頁 現況排水系統図参照）

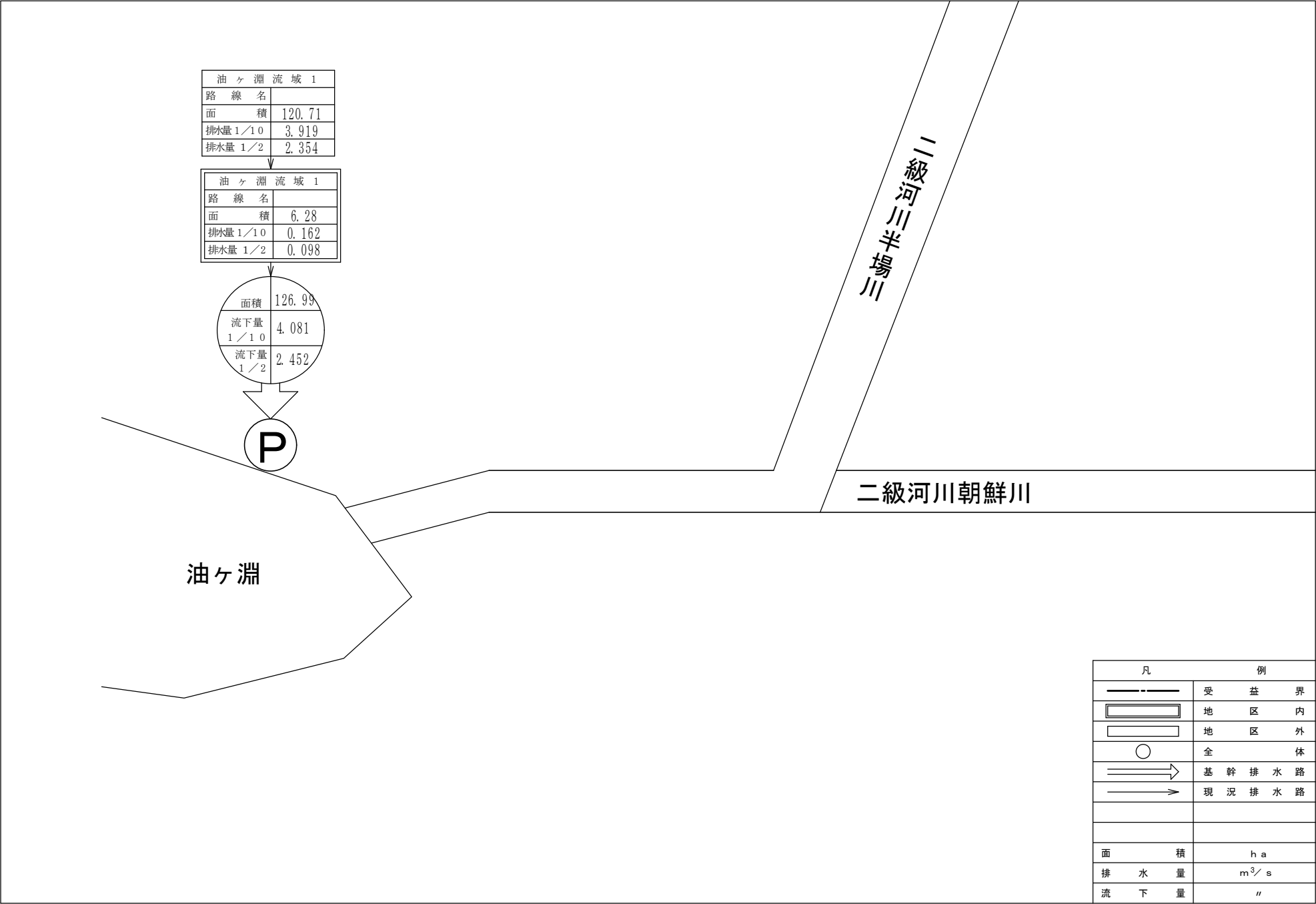
（2）排水施設

（ア）排水方法一覧表

（第5表-4）

事業名	項目 施設名		排 水 面 積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備 考
			500ha以上		500～100ha		100ha未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
区 画 整 理	自然	排水路	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	排水機は当事業の 対象外
		水 門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	-	-	1	[6.3] 127.0	-	-	1	[6.3] 127.0	-	10.1	
	計		-	-	1	[6.3] 127.0	-	-	1	[6.3] 127.0	-	10.1	

[]は地区内分



(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模 (mm)	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
区 画 整 理	自然	排水路	-	-	-	-	-	-	排水機は当事業の 対象外
		水 門	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	農業用排水路 0.5km	6.3	組立柵渠	600×600	S40	能力不足及び老朽化 による機能低下	
	計		-	6.3	-	-	-	-	

(3) 排水に関する被害状況
該当なし

3 河川状況
該当なし

第4節 道路概況

【全体】と同じ

第5節 地域農業の概況

【全体】と同じ

第6節 地域環境の概況

【全体】と同じ

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本事業は、換地を伴う区画整理による道路の拡幅及び畦畔除去による営農区画の拡大を実施し、営農条件の向上を図ることで担い手への農地集積を進め、高収益作物の拡大に資することを目的としている。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	区画整理																計 (ha)	備 考
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	その他	小計												
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)												
大区画化	80.3	-	-	-	3.2	83.5											83.5	登記簿面積より求積

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

現況の小区画農地を30a～50a区画とし、利用権の集積に努める。また、担い手農家への作業委託を進め、農業機械の大型化による低コスト営農を確立し、農業経営の安定を図るものとする。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
区画整理	現況	80.3	-	-	-	-	-	80.3	-	-	3.2	83.5	
	計画	80.3	-	-	-	-	-	80.3	-	-	3.2	83.5	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
区画整理	現況・計画	水稲	水田				○△					×						○△					×							○△					×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の 内訳 (t)		備 考
	土地利用区分			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積当たり 収量増加	
区画整理	水田	表作	水稲	45.8	45.7	△ 0.1	60	60	(530) 515	(530) 515	-	(242.7) 235.9	(242.2) 235.4	△ 0.5	△ 0.5	-	
		裏作	小麦	30.6	30.6	-	40	40	(414) 528	(414) 528	-	(126.7) 161.6	(126.7) 161.6	-	-	-	
			大豆	27.7	25.8	△ 1.9	36	34	(122) 117	(122) 117	-	(33.8) 32.4	(31.5) 30.2	(△2.3) △ 2.2	(△2.3) △ 2.2	-	
			キャベツ	1.9	2.9	1.0	2	4	(5,058) 4,910	(5,058) 4,910	-	(96.1) 93.3	(146.7) 142.4	(50.6) 49.1	(50.6) 49.1	-	
			ブロッコリー	1.0	1.9	0.9	1	2	1,265	1,265	-	12.7	24.0	11.3	11.3	-	
		計		[76.4]	[76.3]	[△0.1]											
				107.0	106.9	△ 0.1	140	140									現況・計画 本地率 田95%

* 作付面積欄の計で[]内は実面積、外は延作付面積。
作付面積は、受益面積に本地率をかけたものである。

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当り労働投下量(hr/10a)				備 考
				区分	現況	計画	増減	
区画整理	水田	水稻	45.7	人 力	35.5	12.2	△ 23.3	作付面積 上段：計画 下段：[現況]
			[45.8]	機械力	5.4	2.7	△ 2.7	
		小麦	30.6	人力	13.1	5.1	△ 8.0	
			[30.6]	機械力	(5.8) 5.9	3.7	(△ 2.1) △ 2.2	
		大豆	25.8	人力	27.8	4.9	△ 22.9	
			[27.7]	機械力	10.0	3.3	△ 6.7	
		キャベツ	2.9	人力	70.1	44.3	△ 25.8	
			[1.9]	機械力	10.9	4.9	△ 6.0	
		ブロッコリー	1.9	人力	132.2	113.8	△ 18.4	
			[1.0]	機械力	7.2	2.6	△ 4.6	
		計	106.9					△は減を示す。
			[107.0]					

6 級地別土地利用区分

該当なし

7 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

該当なし

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

日雨量 169.9mm/日 (1/10年確率)

岡崎観測所の明治24年～平成30年までの既往128年間の観測記録から岩井法により確率雨量を求める。

R24 = 169.9mm/日 R4 = 69.4mm/4hr

2 計画排水方式

自然排水 . . . 4時間雨量・4時間排除

3 計画排水系統

(次頁 計画排水系統図 参照)

4 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による直接単位 流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排出量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事業名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平 地		山地	平地	
	区 画 整 理		計									自然排水	機械排水			
油ヶ淵流域1	6.3	-	6.3	-	1.27	69.4	-	2.410 3.855	-	-	-	4.081	-	-	2.410 3.855	
計	6.3	-	6.3	-	1.27	-	-	-	-	-	-	4.081	-	-	-	

5 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

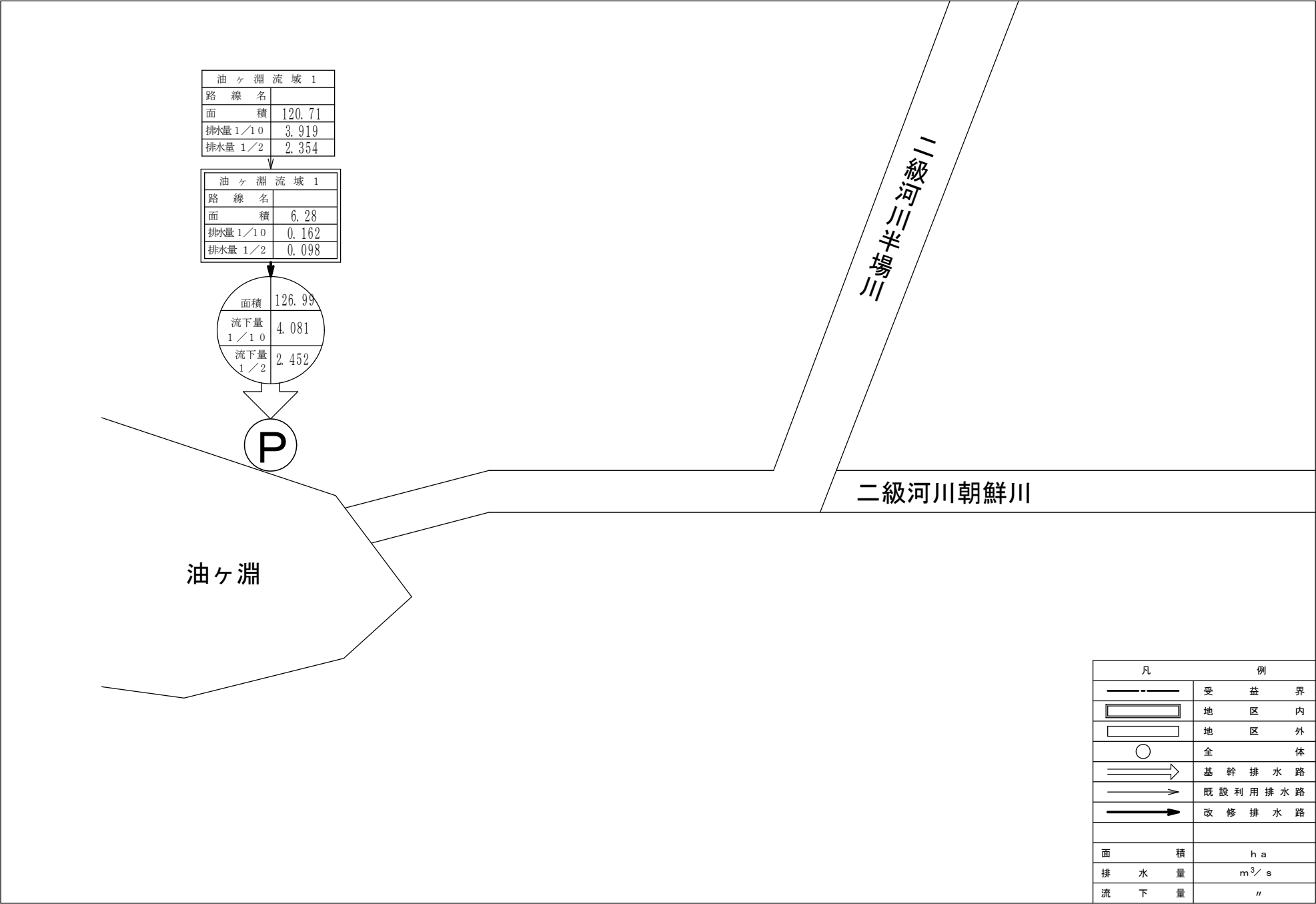
(2) 排水機

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排水本川			備 考
		事業名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		区画整理		計							
支線排水路	1.27	6.3	-	6.3	4.081	0.5	組立柵渠Ⅱ型	-	-	-	



- (4) その他
該当なし

- 6 湛水検討
該当なし

第5節 道路計画

【全体】と同じ

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

【全体】と同じ

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

該当なし

第2節 排水施設

1 排水水門
該当なし

2 排水機
該当なし

3 排水路

(第18表-3)

区分 \ 項目	受益面積 (ha)			排水量 (m³/s)	延長 (km)			構造	勾配 (%)	主要構造物	備考
	事業名				開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理		計								
支線排水路	6.3	-	6.3	4.081	0.5	-	0.5	組立柵渠Ⅱ型	0.17	-	

4 その他排水施設
該当なし

第3節 道路及び索道

【全体】と同じ

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調整施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

【全体】と同じ

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 付帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1 工期 着手 令和2年度
(9)
完了予定 令和12年度 (予定)

2 工事の年度割予定
(変更前)

年度 工種	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
実施設計等									
区画整理									

(変更後)

年度 工種	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備考
実施設計等												
区画整理												

第8章 環境との調和への配慮

【全体】と同じ

第9章 管理の要領

【全体】と同じ

第10章 換地計画の概要

【全体】と同じ

第11章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名		区画整理 (千円)				備 考
区分						
事業費※1)		(216, 000) 257, 600				
事務的経費※2)		(15, 315) 17, 126				
計		(231, 315) 274, 726				
(関連事業 参考)	—					

(元)

令和7年度単価。消費税については10%で算定。(但し、物価変動により将来変動することがある。)

※1) 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2) 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第12章 効 用

(第27表)

事業名	項目	年総効果(便益)額 (千円)	年総増加農業所得額(千円)		備 考
				うち機能向上分	
区画整理	営農経費節減効果	(80, 588) 91, 155	(80, 588) 91, 155	(80, 588) 91, 155	
	営農に係る走行経費節減効果	(2, 488) 2, 601	—	—	
	耕作放棄防止効果	(8) 6	—	—	
	非農用地創設効果	(365) 452	—	—	
	計	(83, 449) 94, 214	(80, 588) 91, 155	(80, 588) 91, 155	(1, 409, 615千円) (元) 総便益額 1, 868, 230千円 令和7年度単価

<参考>

① 当 該 事 業 費 :	(168, 997) 256, 266 千円	⑧ 総 便 益 額 (現 在 価 値 化) :	(1, 409, 615) 1, 868, 230 千円
② そ の 他 費 用 :	(3, 546) 5, 503 千円	⑨ 総費用総便益比 (⑧ ÷ ③) :	(8. 16) 7. 13 ≥ 1. 0
③ 総 費 用 (現 在 価 値 化) :	(172, 543) 261, 769 千円	⑩ 総所得償還率 (④ ÷ ⑥) :	(8. 6) 9. 5 ≤ 20. 0%
④ 年 償 還 額 :	(1, 521) 2, 027 千円/年	⑪ 増加所得償還率 (④' ÷ ⑦) :	(1. 9) 2. 2 ≤ 40. 0%
④' う ち 機 能 向 上 分 :	(1, 469) 1, 961 千円/年		
⑤ 年 総 効 果 (便 益) 額 :	(83, 449) 94, 214 千円/年		
⑥ 現 況 年 総 農 業 所 得 額 :	(17, 737) 21, 258 千円/年		
⑦ 年 総 増 加 農 業 所 得 額 :	(80, 588) 91, 155 千円/年		
評 価 期 間 :	(48) 51 年		
割 引 率 :	0. 04		

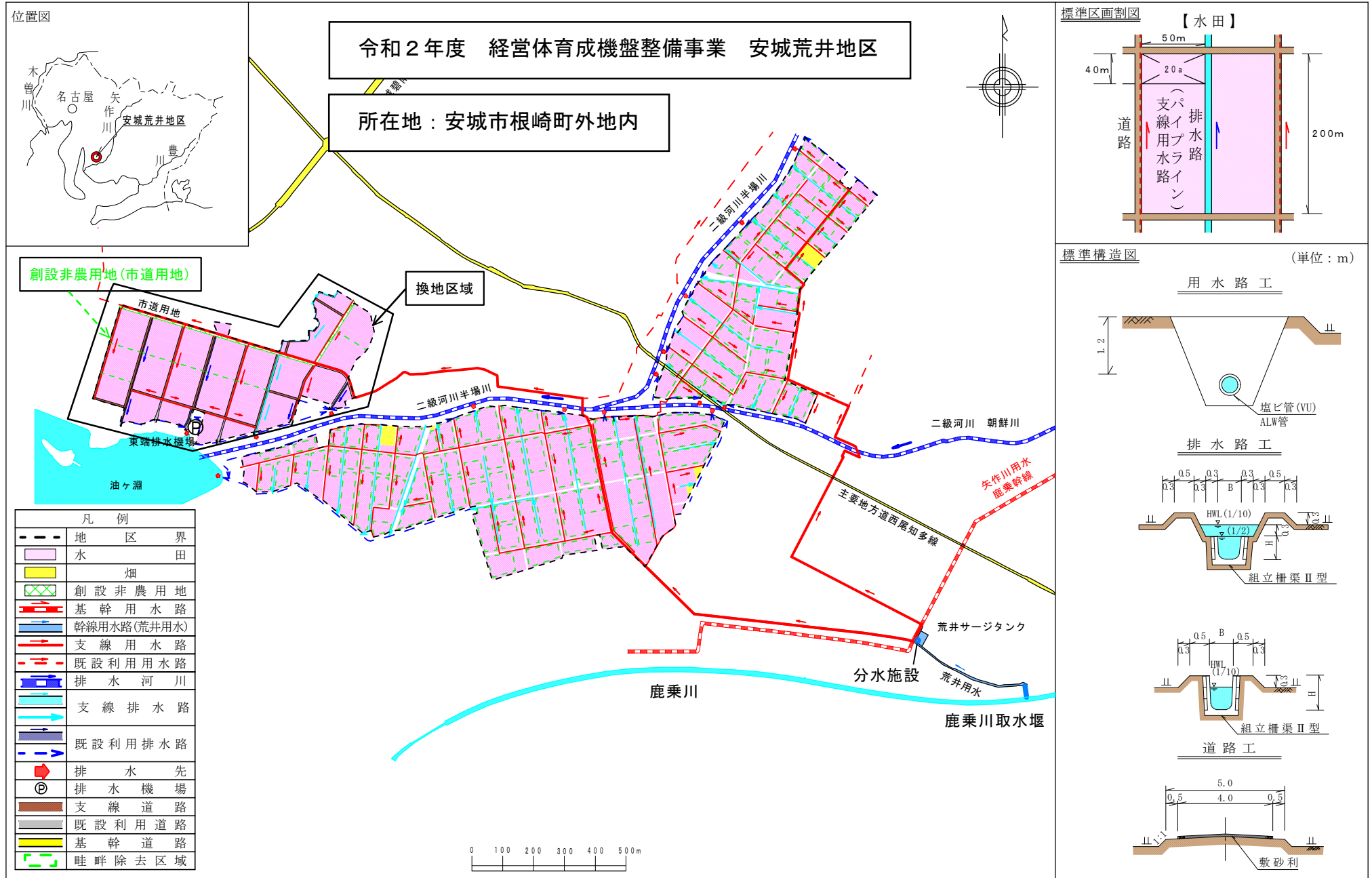
第13章 関連する事業

該当なし

第14章 現況・計画平面図

別添のとおり

計 画 概 要 図



計 画 概 要 図

